

音楽ライフスタイル Web アンケート報告書 2006



trumpet



guitar



saxophone



flute



bass



percussion

CONTENTS

1. 目的・調査方法・概略等 ————— 02

2. 概要編

○分析編 ————— 03

1 現状

- A. 音楽の楽しみ方 ————— 04
- B. 音楽的嗜好 ————— 05
- C. 楽器演奏の経験 ————— 08
- D. 音楽学習に関する意識 ————— 11
- E. 音楽感覚テスト ————— 14

2 今後

- F. 楽器演奏への興味 ————— 15
- G. アンサンブル・バンド活動への興味 ————— 18
- H. 遠隔レッスンについて ————— 20

○まとめ ————— 22

○参考資料・年表 ————— 25

3. 資料編

○出題内容

- ・音楽ライフスタイルアンケート ————— 29
- ・音楽感覚テスト ————— 36

1. 目的・調査方法・概略等

2000人の音楽ライフスタイルと音楽感覚に関する調査

<目的>

本調査・分析は団塊世代を中心に広く成人層の音楽ライフスタイルや音楽感覚を調査し、団塊世代が他の世代との比較においていかなる特色や価値観を持っているか明らかにする試みである。調査結果からは様々な実体が浮き彫りになり、その結果を分析するとともに、若干の考察を加えた。

本報告書が成人層に向けたサービスの提供など音楽普及の施策資料となれば幸いである。

<調査概要>

(1) 調査主体

財団法人ヤマハ音楽振興会 音楽研究事業部 ヤマハ音楽研究所 ソフト研究開発グループ

<http://www.yamaha-mf.or.jp/onken/index.html>

(2) 調査協力

ライフメディア株式会社(本社:東京都港区, 代表取締役社長:鎌倉 章)

<http://www.lifemedia.co.jp/>

(3) 調査方法

Web画面にて回答するインターネット調査。

音楽感覚テストはAdobe社FLASH^{*1}を使用し、Web上で実際の音を聴いて回答。

(4) 実施日程

2006年9月20日～30日

(5) 調査対象

ライフメディアWebアンケート会員(IMI会員)より、「音楽や楽器演奏に興味がある人」かつ、音楽感覚テスト実施が可能なPC環境にある20才以上の会員をスクリーニングし、有効回答を10才区分の年代別に各400名、50代以上を800名抽出し、合計2000名をサンプルとした。ただし、以下の職業に該当する人(音楽の指導業務、プロの演奏家、業種は問わずマーケティング/企画販促関連の部署/新聞/放送/広告代理店などのマスコミ関係、または市場調査会社関係者)は調査より除外とした。

(6) 有効回答者数: 2000名の内訳

	20代	30代	40代	50代	計	60代	合計
				計			(%)
男性(人)	157	153	215	279	137	1019	(51%)
				非団塊: 193			
				団塊: 86			
女性(人)	243	247	185	330	54	981	(49%)
				非団塊: 271			
				団塊: 59			
計	400	400	400	609 ^{*3}	191 ^{*3}	2000	(100%)
				非団塊: 464			
				団塊: 145			

なお、次ページ以降の「分析編」においては、音楽ライフスタイルを考察するにあたり、特徴的な結果が得られた一部の調査に関してのみ分析及び考察を加えている。設問全部の結果については別冊「資料編」を参考としていただきたい。

【メモ】

団塊世代: 戦後のベビーブームに誕生した、2006年調査時点で50代後半を迎える世代の人々を指す。

1976(昭和51)年、堺屋太一氏が上梓した小説「団塊の世代」に登場した言葉である。800万人から1000万人の“かたまり”をなす「団塊の世代」の人々は、その後の日本社会の変化を誘導しそれまでの価値観を壊した世代と言われている。

※1 FLASHについて

<http://www.adobe.com/jp/platform/>

※2 団塊世代には、①1946(昭和21)年～1950(同25)年に生まれた世代、②1947(昭和22)年～1949(同24)年に生まれた世代という考え方があがるが、今回の調査では後者としている。

よって、団塊世代:57～59才、非団塊世代:50～56才(2006年9月調査現在)

※3 団塊世代に主眼をおいて調査を行う為に、50～60代の人数を609+191=計800人とした。

2. 概要編

○分析編

(1) 現状

※本報告書では全18問の設問から重要な設問のみをピックアップしている。

A. 音楽の楽しみ方

Q2：あなたは音楽をどのように楽しんでいますか？

B. 音楽的嗜好

Q5：一番好きな音楽のジャンルは何ですか？

Q7：嫌いな音楽のジャンルはありますか？

Q8：あなたにとって「思い出の曲」はありますか？

Q8-2：その曲名と聴いていた年齢を教えてください。

Q9：男性が演奏していてカッコいいと思う楽器は何ですか？

Q10：女性が演奏していて素敵だと思う楽器は何ですか？

C. 楽器演奏の経験

Q11：あなたには演奏できる楽器がありますか？

Q11-2：(演奏できる) その楽器は何ですか？

Q17：アンサンブル・バンド等の活動経験はありますか？

Q17-2：活動内容を教えてください。

D. 音楽学習に関する意識

Q12-4：今後未経験の楽器を習得する上で最も重要だと思うものは何ですか？

Q13：楽器演奏に必要なと思う能力は何ですか？

Q14：あなたは楽譜が読めますか？

Q14-3：(楽譜を)読めるようになりたいと思いますか？

Q14-4：なぜ(楽譜を)読めるようになりたいと思いますか？

E. 音楽感覚テスト

(2) 今後

F. 楽器演奏への興味

Q12：今までに未経験の楽器で、演奏してみたい楽器はありますか？

Q12-2：(演奏してみたい) その楽器は何ですか？

Q12-3：楽器を弾けるようになったら何をしたいですか？

G. アンサンブル・バンド活動への興味

Q17-4：今後、アンサンブルやバンド活動をやってみたいと思いますか？

Q17-5：(アンサンブルやバンド活動として)何をやってみたいと思いますか？

H. 遠隔レッスンについて

Q15：インターネットやテレビ電話を活用した音楽レッスンをどう思いますか？

Q15-2：(「活用してみたい」と回答した人に)なぜそう思いましたか？

Q15-3：(「抵抗感がある」と回答した人に)なぜそう思いましたか？

A 音楽の楽しみ方

Q2：あなたは音楽をどのように楽しんでいますか？（複数回答 以降MAと表記）

※本報告書では全18問の設問から重要な設問のみをピックアップしている。

仮説：音楽には能動的な楽しみ方と受動的な楽しみ方があるが、団塊世代は能動的な楽しみ方をする者が多い。

〔図2〕音楽の楽しみ方としては、どの世代でもほぼ100%の人が「CDやレコードを聴く」と回答している。「楽器を演奏する」という回答はどの世代においても様に少ない。若い世代ほど累積パーセンテージが高くなることから、若い世代ほど複数の項目を回答した、つまり音楽の楽しみ方が多様であることがうかがえる。性別によって音楽の楽しみ方が異なるかどうかについての検討も行ったが、大きな男女差はみられ

なかった。

〔図2-A〕仮説を検証するため、図2の「歌を歌う」「楽器を演奏する」の2項目を「能動的」楽しみ方とし、「CDやレコードを聴く」「コンサート・ライブに行く」「ミュージックDVDを見る」の3項目を「受動的」楽しみ方として、それぞれ合計したパーセンテージを図2-Aに示す。団塊世代の「能動的」楽しみ方は約50%と6つの世代中最も低いパーセンテージを示し、

「団塊世代は能動的な楽しみ方をする者が多い」という仮説は支持されなかった。

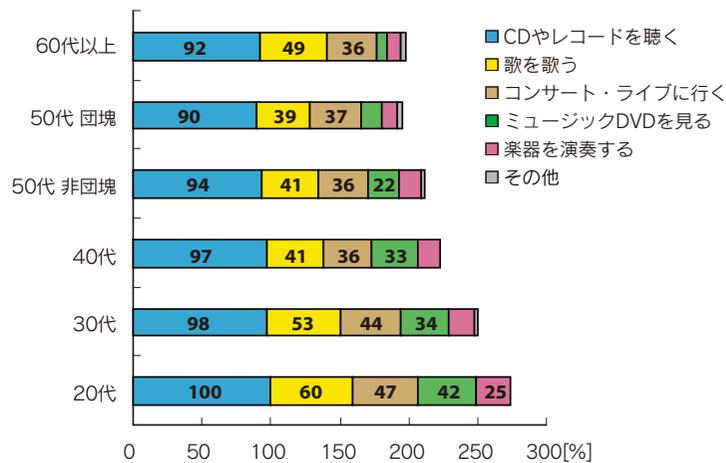


図2 音楽の楽しみ方

※複数回答可としたため、累積パーセンテージは100%を超える。
※図番号は設問番号に対応（例：Q2→図2）。

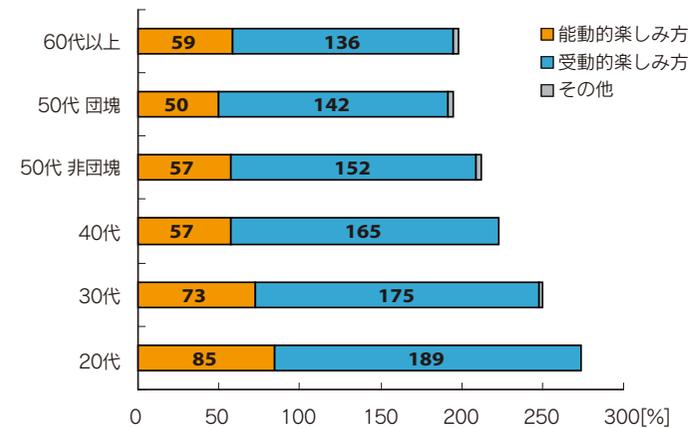


図2-A 音楽の楽しみ方：能動的楽しみ方と受動的楽しみ方

※複数回答可としたため、累積パーセンテージは100%を超える。

B 音楽的嗜好

Q5：一番好きな音楽のジャンルは何ですか？

Q7：嫌いな音楽のジャンルはありますか？

仮説：世代間で音楽体験や嗜好が異なる。

〔図5〕「一番好きな音楽ジャンル」は、20～40代と50代以降とで大きく傾向が異なり、20～40代はJ-POPに回答が集中しているが、50代以降では複数のジャンルに回答が分散する。年齢が高いほど「クラシック」という回答が増える。「フォーク」という回答は40代以上にみられ、「演歌」という回答は50代以上にみられる。

〔図7〕「嫌いな音楽ジャンル」は、すべての世代を通じて共通の傾向を示している。どの世代も嫌いな音楽ジャンルは「ない」という回答が最も多く、約4割を占める。次いで多いのは「演歌」であり、20～40代では約2割を占める。嫌いな音楽ジャンルとして「演歌」「純邦楽（雅楽等）」「日本民謡」と日本的音楽ジャンルが回答されがちなようである。

図5と図7から、仮説に関しては、好きな音楽ジャンルは世代間で嗜好が異なるが、嫌いな音楽ジャンルは共通の傾向を示すということができよう。

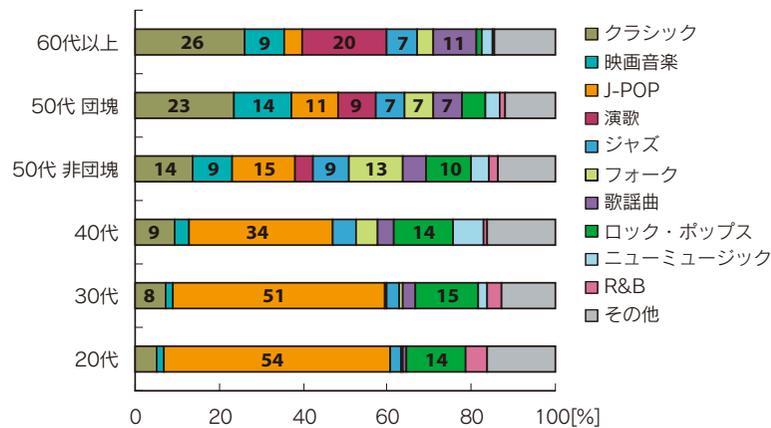


図5 一番好きな音楽ジャンル

※項目数が多いため、6世代すべてを通じて選ばれた割合が5%未満であった項目は「その他」にまとめた。

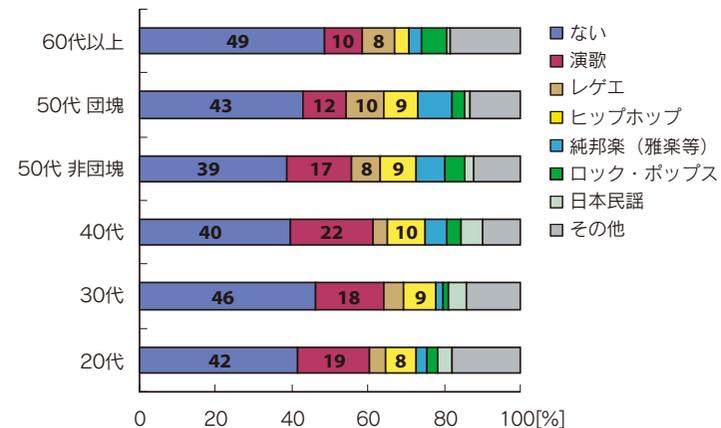


図7 嫌いな音楽ジャンル

※項目数が多いため、6世代すべてを通じて選ばれた割合が5%未満であった項目は「その他」にまとめた。

Q8：あなたにとって「思い出の曲」はありますか？

Q8-2：その曲名と聴いていた年齢を教えてください。(最大3曲まで複数回答可)

仮説：20歳前後に聴いた曲は深く印象に残っている。

〔図8〕どの世代でも7割程度の方が「思い出の曲」が「ある」と答えており、世代間の違いはみられなかった。

〔表8-2-A〕「思い出の曲」としてあげられた曲名は、「ひとりに1曲ずつ思い出の曲がある」といってもいいほど多岐にわたり、若い世代ほど共通の曲名が挙げられることは少なかった。団

塊世代では、最も多くあげられた曲名は「高校三年生」であり、次いで「神田川」が続いた。第3位に、ジャンルの異なるベートーヴェンの「田園交響曲」等が続くのは興味深い。

〔表8-2-B〕若い世代ほど若干年齢が低くなるものの、「思い出の曲」を聴いていた年齢の平均値はどの世代でも20歳前

後となった。また、すべての世代を通じて「思い出の曲」を聴いていた年齢として最も数多くあがったのは「20歳」であった。したがって「20歳前後に聴いた曲は深く印象に残っている」という仮説は支持された。20代の回答者でも、「思い出の曲」を聴いていた年齢として「20歳」をあげているのは興味深い。

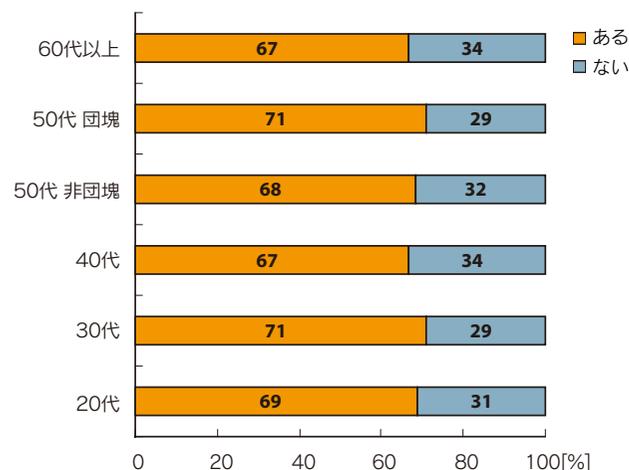


図8 「思い出の曲」の有無

表8-2-A 50代の非団塊世代と団塊世代で「思い出の曲」として回答数が多かった曲名

50代 非団塊			50代 団塊		
順位	人数	曲名	順位	人数	曲名
1	21	神田川	1	9	高校三年生
2	18	22歳の別れ	2	6	神田川
3	9	なごり雪	3	3	ベートーヴェン「田園交響曲」
4	7	傘がない	3	3	風とともに去りぬ
4	7	高校三年生	3	3	夜明けのスカット
4	7	レット・イット・ビー			

表8-2-B 「思い出の曲」を聴いていた年齢

	20代	30代	40代	50代 非団塊	50代 団塊	60代以上
平均値(歳)	17.3	18.8	19.4	20.8	21.2	23.7
最頻値(歳)	20	20	20	20	20	20
最頻値件数	60	64	70	115	35	33
有効回答数	534	505	527	665	215	278

※各世代で有効回答数が全回答者数より多いのは、「思い出の曲」の曲名として最大3曲まで複数回答可としたことによる。年齢として「20代」「25～26才」「小学生」等の回答は無効とした。

Q9：男性が演奏していてカッコいいと思う楽器は何ですか？

Q10：女性が演奏していて素敵だと思う楽器は何ですか？

仮説：世代間で音楽体験や嗜好が異なる。

【図9】「男性が演奏していてカッコいいと思う楽器」として最も多く選ばれたのは「ピアノ」であった。ただし、団塊世代と60代以上では「ピアノ」と同じぐらい「ドラム」という回答も多い。20～40代ではエレクトリック・ギターという回答も多くみられた。仮説に関しては、「男性が演奏していてカッコいい楽器」は、世代間で嗜好がやや異なるといえそうである。

【図10】「女性が演奏していて素敵だと思う楽器」は、「男性が演奏していてカッコいいと思う楽器」よりも限られた楽器

に回答が集中する特徴がみられた。どの世代でも共通して半数以上が「ピアノ」と回答し、次いで「バイオリン」「フルート」という回答が多い。「ピアノ」「バイオリン」「フルート」の3種類で回答の7～8割を占める。仮説に関しては、「女性が演奏していて素敵な楽器」は世代間の嗜好の違いはあまりみられない。

図9と図10を比較すると、「男性が演奏していてカッコいい楽器」と「女性が演奏していて素敵な楽器」はかなり異なる

ことがみてとれる。「男性向き」イメージの楽器と、「女性向き」イメージの楽器があるようである。

「男性が演奏していてカッコいいと思う楽器」「女性が演奏していて素敵だと思う楽器」について、回答者の性別によって異なる傾向がみられるかどうかについても検討を行ったが、大きな違いはみられなかった。

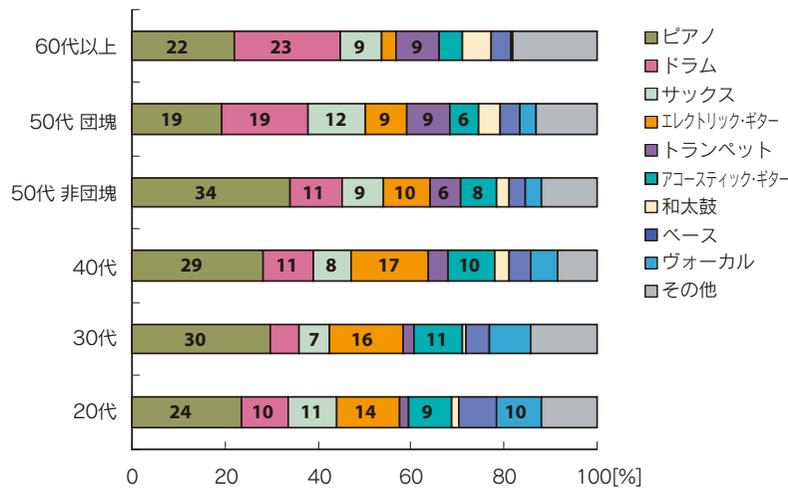


図9 男性が演奏していてカッコいいと思う楽器

※項目数が多いため、6世代すべてを通じて選ばれた割合が5%未満であった項目は「その他」にまとめた。

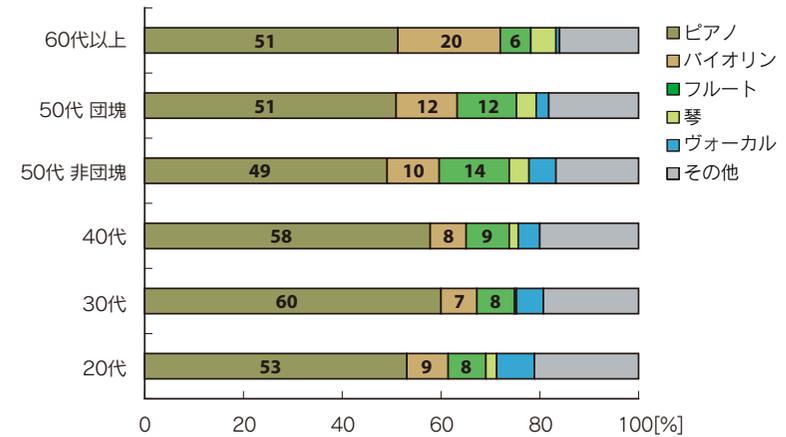


図10 女性が演奏していて素敵だと思う楽器

※項目数が多いため、6世代すべてを通じて選ばれた割合が5%未満であった項目は「その他」にまとめた。

Q11：あなたには演奏できる楽器がありますか？

仮説：若年世代と比べ、団塊世代は楽器演奏未経験者が多い。

20代と30代の女性を除き、全体にどの世代でも演奏できる楽器が「ある」という回答よりも、「ない」という回答のほうが多い。50代の非団塊世代／50代の団塊世代／60代以上の3世代において、演奏できる楽器が「ない」という回答は他の世代より特に多く、「若年世代に比べ、団塊世代は楽器演奏未経験

者が多い」という仮説は支持された。ただし、これは団塊世代の特徴というよりは、50代以上に共通する特徴である。

20～40代では、女性のほうが男性よりも、演奏できる楽器が「ある」割合が顕著に多く、若い世代ほど男女差が開くという特徴的傾向が見られた。

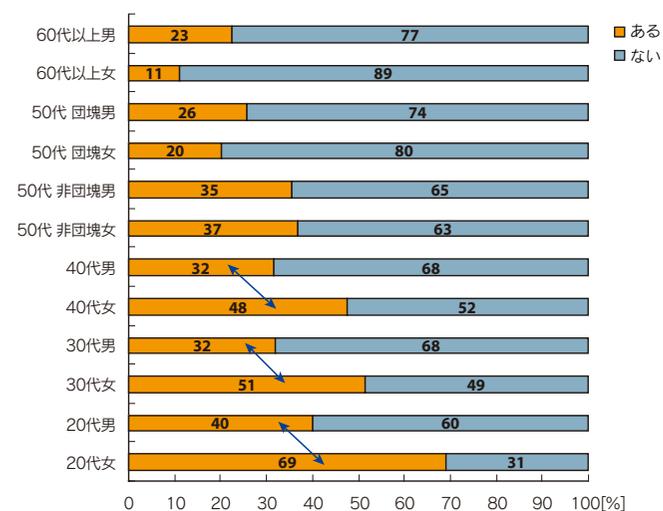


図11 演奏できる楽器の有無

※男女差がみられたため、各世代について男女別にデータを示す。

Q11-2 : (演奏できる) その楽器は何ですか? (MA)

演奏できる楽器としてあげられた楽器名には、全体に大きな男女差がみられた。「ピアノ」という回答は、すべての世代で女性のほうが男性よりも多い。60代を除く各世代で、楽器演奏ができる女性の約7割が、演奏できる楽器として「ピアノ」をあげている。

一方、「アコースティック・ギター」という回答は、すべての世代で男性のほうが女性よりも多かった。特に40代と50代の非団塊世代の男性は、約半数の

回答者が演奏できる楽器として「アコースティック・ギター」の名前をあげている。また、「エレクトリック・ギター」という回答も、20～40代では男性のほうが女性よりも多く、50代の非団塊世代と団塊世代では男性の回答にのみみられた。演奏できる楽器として、女性は「ピアノ」、男性は「ギター」という構図が浮かびあがる。

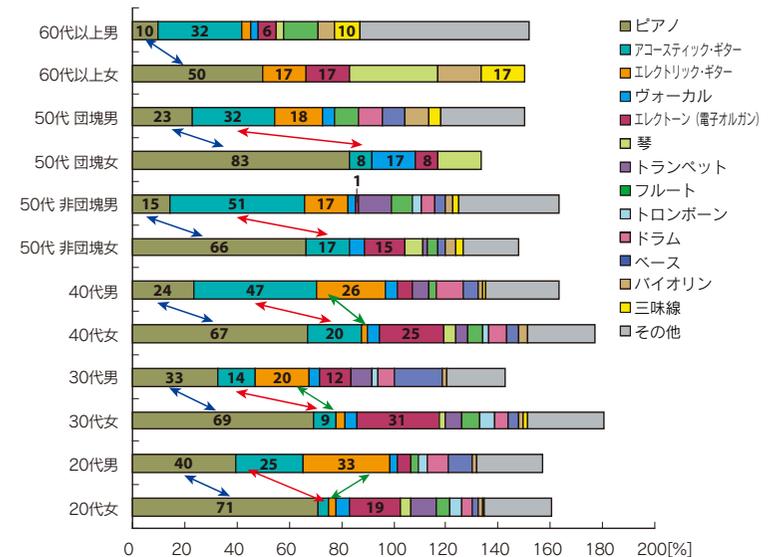


図 11-2 演奏できる楽器名

※ Q11で「演奏できる楽器がある」と答えた人のみが回答。複数回答可としたため、累積パーセンテージは100%を超える。項目数が多いため、6世代すべてを通じて選ばれた割合が10%未満であった項目は「その他」にまとめた。男女差がみられたため、各世代について男女別にデータを示す。尚、60代以上の女性では、「アコースティック・ギター」という回答はみられなかった。

Q17: アンサンブル・バンド等の活動経験がありますか？

仮説：若年世代と比べ、団塊世代は楽器演奏未経験者が多い。

どの世代においても、アンサンブル・バンド等の活動経験が「ない」場合が8割以上と大多数を占めることがわかった。団塊世代と60代以上の世代では、アンサンブル・バンド等の活動経験が「ない」という回答が、他の世代と比べても特に多かった。したがって、「若年世代に比べ、団塊世代は楽器演奏未経験者が多い」という仮説は支持された。ただし、これは団塊世代のみの特徴ではなく、団塊世代と60代以上に共通する特徴である。

20代と30代では、アンサンブル・バンド等の活動経験が「ある」と答えた割合は、女性のほうが男性よりも多かった。40代では男女の違いはほとんどなく、50代の非団塊世代と団塊世代になると、アンサンブル・バンド等の活動経験が「ある」という回答は男性のほうが多くなる。アンサンブル・バンド等の活動経験がある者は全体に少なかったが、40代を境として男女の傾向が逆転しているところが興味深い。

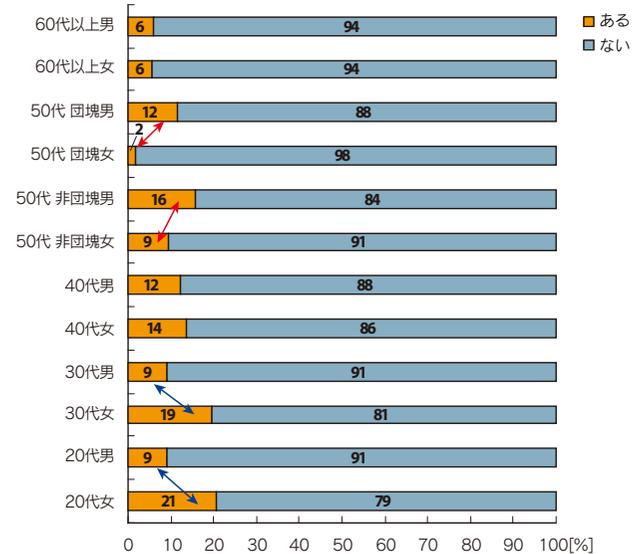


図17 アンサンブル・バンド活動経験の有無

※男女差がみられたため、各世代について男女別にデータを示す。

Q17-2: 活動内容を教えてください。(MA)

団塊世代でアンサンブル・バンド活動を経験したことがあると回答したのは16名と非常に少なかったが、そのうち5名が「フォーク」を経験したことがあると答えた。「フォーク」という回答は50代の非団塊世代を頂点として30～50代の団塊世代においてみられ、20代と60代以上ではまったくみられなかった。20代では「吹奏楽・マーチングバンド」という回答が多くみられた。

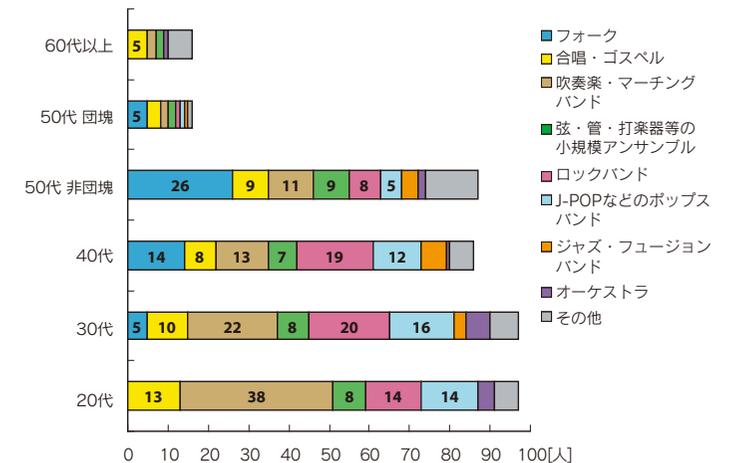


図17-2 経験したことのあるアンサンブル・バンド活動

※Q17でアンサンブル・バンド経験が「ある」と答えた人のみが回答。各世代とも非常に人数が少なかったため、パーセンテージではなく人数を示す。

D 音楽学習に関する意識

Q12-4：今後未経験の楽器を習得する上で最も重要だと思うものは何ですか？

Q13：楽器演奏に必要なだと思う能力は何ですか？

仮説：成人の楽器演奏導入への阻害要因は何か？ 阻害要因を解決すれば楽器導入は可能である。

〔図12-4〕 団塊世代では「楽器を弾く・練習が出来る環境」という回答が最も多く、次いで「レッスンを受けること」「根気」「練習する時間」という回答が多く見られた。どの世代においても「楽器」や「才能」という回答は少なかった。「楽器を弾く・練習が出来る環境」という回答が多かったということは、「楽

器を弾ける・練習が出来る環境」がないことが、楽器演奏導入の大きな阻害要因であることを反映していると考えられる。

〔図13〕 楽器演奏に必要な能力としては、どの世代においても共通して「音程が聴き分けられる」という回答が最も多かった。次いで「楽譜が読める」という回答が多く、どの世代で

も回答の約3割を占めた。「楽譜が読めないと楽器演奏はできない」という考え方をする者は比較的多いようである。

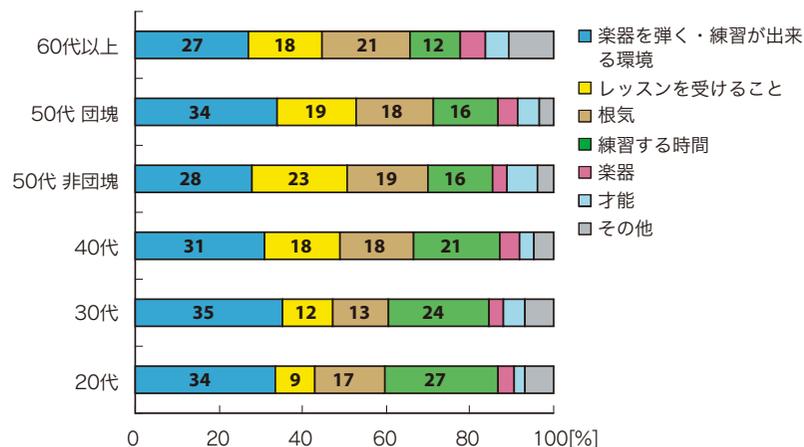


図12-4 未経験楽器を習得する上で重要だと思うもの

※Q12で演奏してみたい未経験楽器が「ある」と答えた人のみが回答。項目数が多いため、6世代すべてを通じて選ばれた割合が5%未満であった項目は「その他」にまとめた。

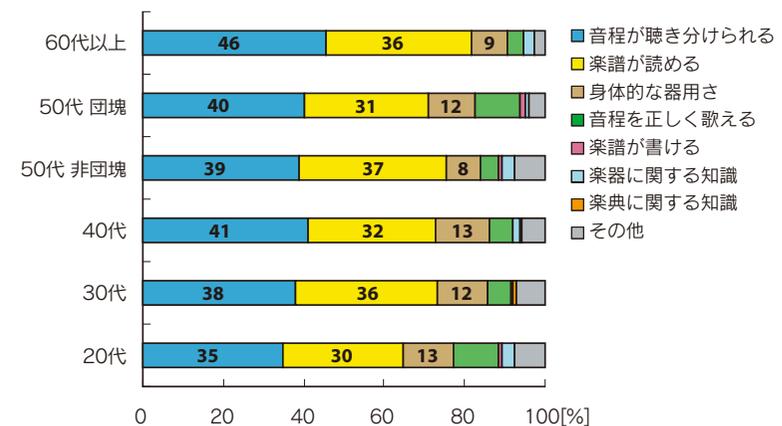


図13 楽器演奏に必要なと思う能力

Q14：あなたは楽譜が読めますか？

図14-Aは、Q11で「楽器演奏経験がない」と答えた人についてのみ、Q14の回答を集計したものである。男女差がみられたため、各世代について男女別のデータを示す。20代と30代を除く4つの世代において、楽譜を「読めない」という回答は男性のほうが女性より20%以上も多かった。

この回答は自己申告であるので、読譜能力が同程度の人で

も、ある回答者は「読めない」と回答し、ある回答者は「少しなら読める」と回答しているかもしれない。少なくともこのデータからわかることは、男性は「自分は楽譜が読めない」と思っている人が多く、女性は「少しなら読める」と思っている人が多いということである。Q13や後述のQ14-4で「楽譜が読めない」と「楽器が弾けない」と考える人が多いことを考え合わ

せると、「自分は楽譜が読めない」と思っている男性が多いということは、男性のほうが楽器演奏への敷居が高いと感じている人が多いということになるであろう。

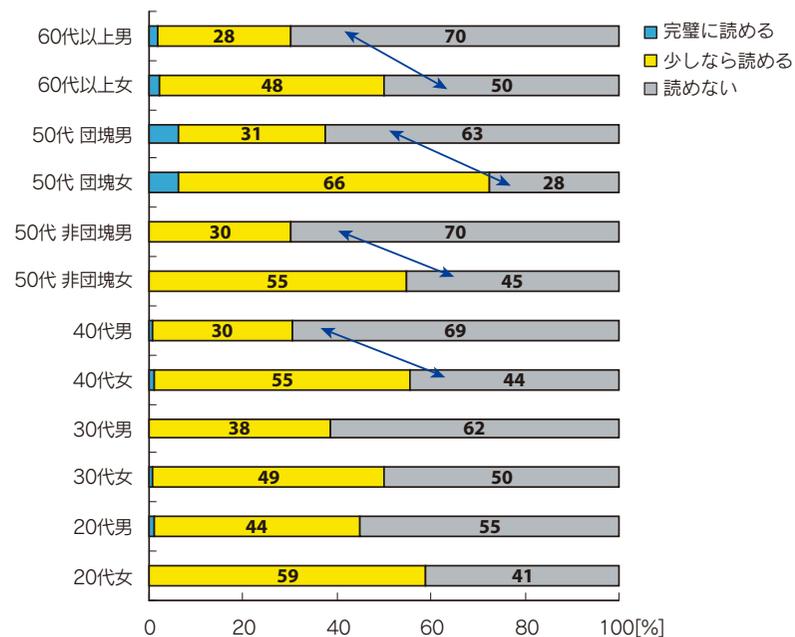


図14-A 読譜能力の有無

※ Q11で「楽器演奏経験がない」と答えた人について集計したデータを示す。
男女差がみられたため、各世代について男女別にデータを示す。

Q14-3 : (楽譜を) 読めるようになりたいと思いますか？

Q14-4 : なぜ (楽譜を) 読めるようになりたいと思いますか？

仮説：団塊世代は、楽譜が読めないと楽器演奏は出来ないと思っている。

[図14-3] Q14で楽譜が「読めない」と答えた人のうち、ほとんどの世代において半数以上が「読めるようになりたいと思う」と回答した。

[図14-4] 「楽譜を読めるようになりたい理由」として、50代以降の世代では「読めないと楽器が弾けない」という回答が多い。特に50代の非団塊世代で「読めないと楽器が弾けな

い」という回答が約6割と非常に多いことが目をひく。団塊世代では、「読めないと楽器が弾けない」という回答と「一般教養として知っておきたい」という回答はいずれも約4割であり、この傾向は20代とほぼ同じである。

これらのデータから、「団塊世代は楽譜が読めないと楽器演奏は出来ないと思っている」という仮説は、ある程度は支

持されるものであろう。ただし、50代の非団塊世代と60代以上の世代、つまり団塊世代の前後の世代で、「楽譜が読めないと楽器演奏が出来ない」と考える傾向は特に強いようである。

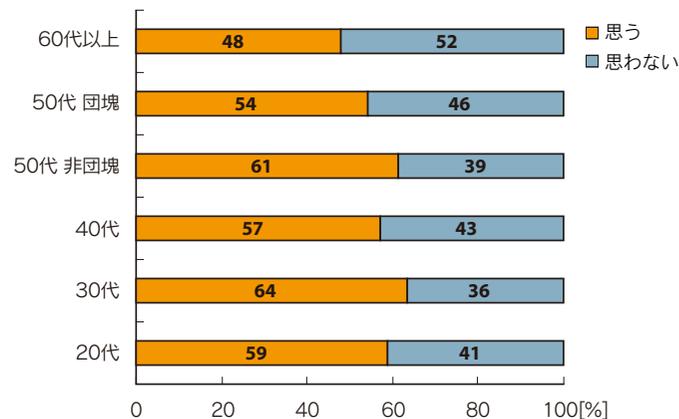


図14-3 楽譜を読めるようになりたいと思うかどうか

※ Q14で楽譜が「読めない」と答えた人のみが回答。

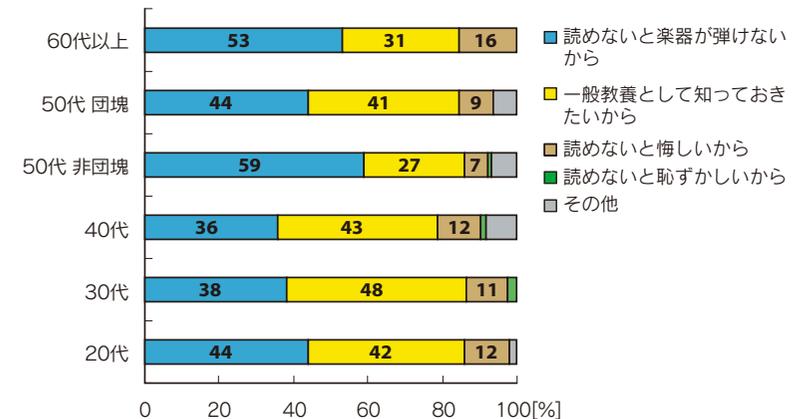


図14-4 楽譜を読めるようになりたい理由

※ Q14-3で楽譜を読めるようになりたいと「思う」と答えた人のみが回答。

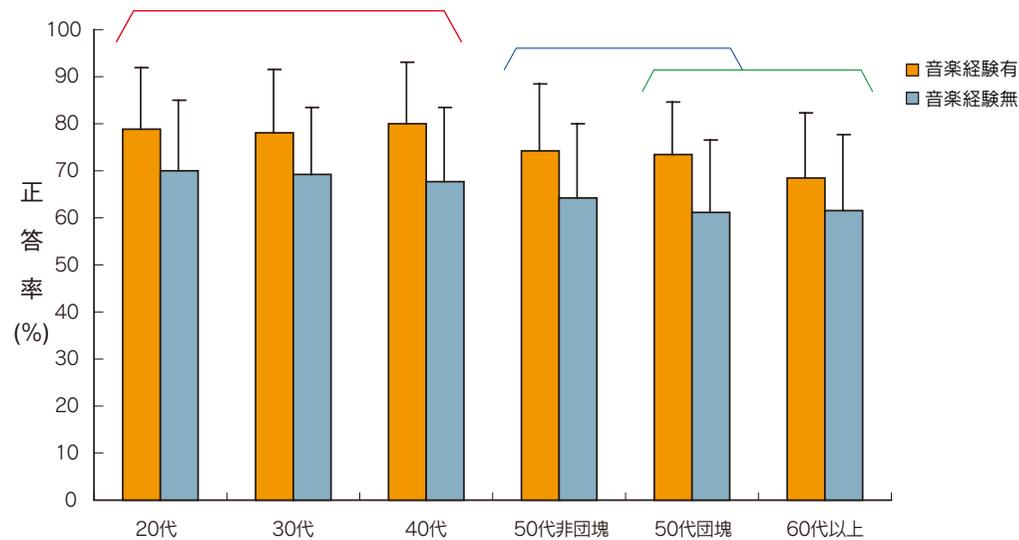
E 音楽感覚テスト

音楽感覚テストとして行った8問全体の正答率について、「年代の違い」「音楽経験の有無」「性別」の3つの要因が影響を及ぼすかどうかを調べる統計的検定を行った。音楽経験の有無については、音楽ライフスタイルアンケートのQ1で「音楽や楽器のレッスンを受けたことがある」と回答したものを「音楽経験有」、 「音楽や楽器のレッスンを受けたことがない」と回答したものを「音楽経験無」とした。

統計的検定の結果、まず音楽経験の有無が正答率に影響を及ぼしており、どの世代でも音楽経験が有る者は、音楽経験が無い者よりも正答率が高いことがわかった。

また、年代の違いも正答率に影響を及ぼしているが、20～40代の正答率は統計的に差がなく、50代の非団塊世代と団塊世代の正答率も統計的に差がない。また、団塊世代と60代以上の正答率も統計的に差がないという結果が得られ

た。おおまかには、20～40代までの若い世代と50代以降の世代とで、正答率に違いがみられるといってもよいだろう。一方、性別の影響はみられなかった。



音楽感覚テストにおける世代ごとの正答率

F 楽器演奏への興味

Q12：今までに未経験の楽器で、演奏してみたい楽器はありますか？

仮説：団塊世代にとって可処分時間の多い60歳以上になったらやりたい事として、楽器演奏願望が大きい。

〔図12-A〕Q11で今までに演奏できる楽器が「ある」と答えた人の場合、これから演奏してみたい未経験楽器が「ある」と答えた割合は、20～30代で約8割、40代と50代の非団塊世代では約7割、団塊世代と60代以上では約6割となった。これまでに何らかの楽器演奏の経験がある人の場合、若い世代ほど未経験の楽器に対して意欲的なことがうかがえる。

〔図12-B〕Q11で今までに演奏できる楽器が「ない」と答えた人の場合、これから演奏してみたい未経験楽器が「ある」と答えた割合は、20代～団塊世代ではおしなべて約6割であり、60代以上で約4割と少なかった。

図12-Aと図12-Bを比較すると、過去に何らかの楽器の演奏経験がある人のほうが、未経験楽器に意欲的なことが

みてとれる。図12-Aと図12-Bのいずれにおいても、仮説に関しては、団塊世代が他の世代よりも楽器演奏願望が大きいということはいえないようである。

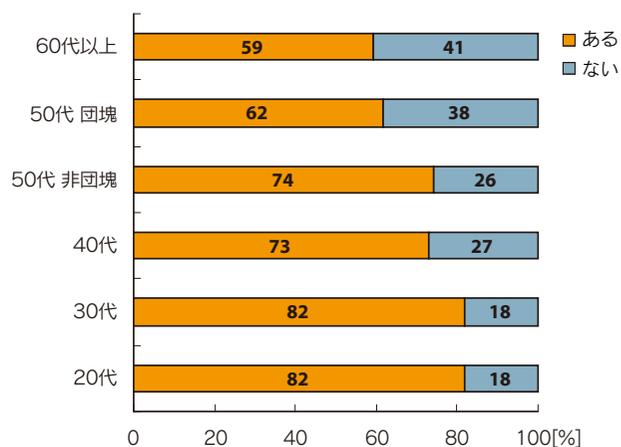


図12-A 演奏してみたい未経験楽器の有無：演奏できる楽器が「ある」場合

※ Q11で演奏できる楽器が「ある」と答えた人のみの集計。

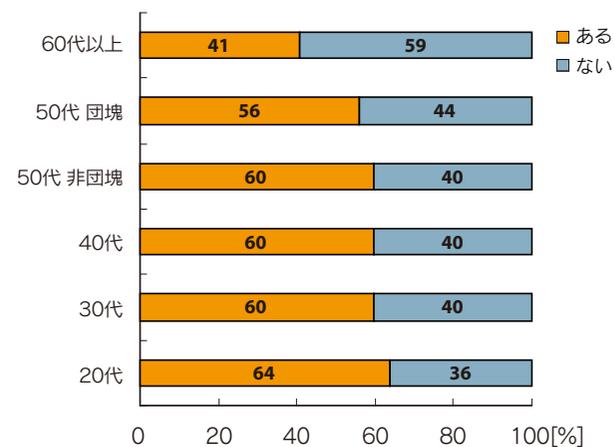


図12-B 演奏してみたい未経験楽器の有無：演奏できる楽器が「ない」場合

※ Q11で演奏できる楽器が「ない」と答えた人のみの集計。

Q12-2 : (演奏してみたい) その楽器は何ですか？

〔図12-2-A〕 Q11でこれまでに演奏できる楽器が「ある」と答えた人の場合、これから演奏してみたい未経験楽器は、20代から50代の非団塊世代では、「ピアノ」「バイオリン」「サククス」という回答が多かった。団塊世代は傾向が異なり、他の世代よりも「ピアノ」という回答が少なく、「サククス」とい

う回答がぐっと多かった。60代以上でも「サククス」という回答は多いが、「ピアノ」という回答も同等に多い。

〔図12-2-B〕 Q11でこれまでに演奏できる楽器が「ない」と答えた人の場合、これから演奏してみたい楽器として、「ピアノ」という回答がどの世代も圧倒的に多かった。団塊世代では、

「ピアノ」に次いで、「サククス」「チェロ」「バイオリン」という回答がみられ、「アコースティック・ギター」や「エレキギター」という回答はこれらの楽器よりも少なかった。

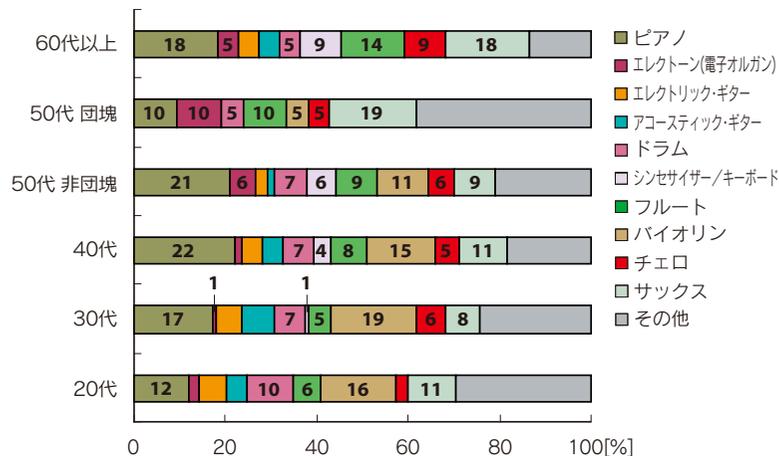


図12-2-A 演奏してみたい未経験楽器名：演奏できる楽器が「ある」場合

※ Q11で演奏できる楽器が「ある」と答え、かつQ12で演奏してみたい未経験楽器が「ある」と答えた人の回答を集計。項目数が多いため、6世代すべてを通じて選ばれた割合が5%未満であった項目は「その他」にまとめた。

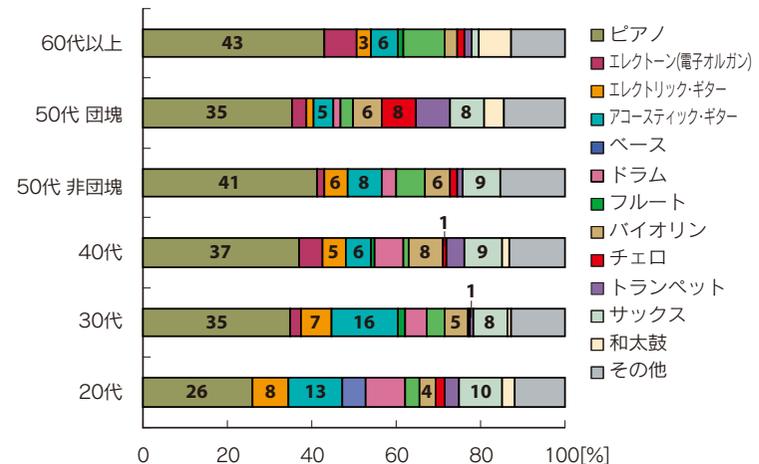


図12-2-B 演奏してみたい未経験楽器名：演奏できる楽器が「ない」場合

※ Q11で演奏できる楽器が「ない」と答え、かつQ12で演奏してみたい未経験楽器が「ある」と答えた人の回答を集計。項目数が多いため、6世代すべてを通じて選ばれた割合が5%未満であった項目は「その他」にまとめた。

Q12-3：楽器を弾けるようになったら、何をしたいと思いますか？

仮説1：団塊世代は人前で演奏を披露することへの憧れがある。

仮説2：団塊世代は子どもや孫などと音楽を通して触れ合うことを望んでいる。

団塊世代に男女差がみられたため、各世代それぞれ男女別にデータを示す。どの世代においても「自分で楽しみたい」という回答が圧倒的に多いことがわかる。

団塊世代で、「自分で楽しみたい」という回答は、男性では約56%なのに対し、女性は約83%と男性よりも20%以上も多く、全世代を通じて最も高い値を示した。団塊世代の女性の場合、「自分で楽しみたい」という回答と「家族と楽しみたい」という回答をあわせると約94%となり、圧倒的に「プライベート志向」であることが特徴的である。一方、団塊世代の男性の場合、「人前で演奏したい」という回答が約19%あり、「コンサート・ライブに出たい」とい

う回答も約6%みられた。したがって仮説に関しては、団塊世代の男性の場合は、人前で演奏を披露することに憧れがある人がいるといえそうである。

団塊世代で「バンドを組みたい」と回答したのは男性で約2%、女性で約3%であり、これは20～40代と比べると低い数字である。

「家族と楽しみたい」という回答は、60代以上の男性と30代の女性にやや多く、20代では少ない傾向がみられたが、団塊世代で特に多いということとはなかった。したがって、このデータから「団塊世代は子どもや孫などと音楽を通して触れ合うことを望んでいる」ということはできないだろう。

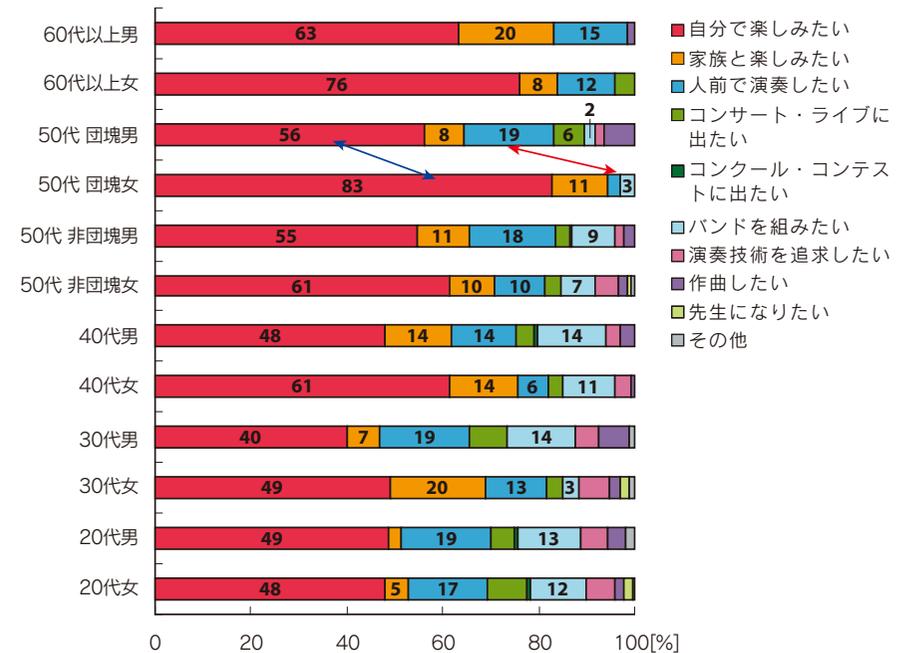


図12-3 楽器を弾けるようになったらしたいこと

※Q12で演奏してみたい未経験楽器が「ある」と答えた人のみが回答。団塊世代に男女差がみられたため、各世代について男女別にデータを示す。

G アンサンブル・バンド活動への興味

Q17-4：今後、アンサンブルやバンド活動をやってみたいと思いますか？

仮説：団塊世代はアンサンブルやバンド活動に対して興味がある。

団塊世代でアンサンブル・バンド活動を「勧められればやってみたい」「是非やってみたい」という回答はいずれも約2%と少なかった。「是非やってみたい」という回答はすべての世代を通じて少なかったが、「勧められればやってみたい」という回答は、他の世代と比べても団塊世代で特に少なかった。

団塊世代で最も多かった回答は、「興味はあるが自分には無理」であり、約4割となった。

したがって「団塊世代は、アンサンブルやバンド活動に対して興味がある」という仮説に関しては、興味という部分は支持されたということもできるが、興味があっても「是非やってみたい」という積極的な気持ちにはつながらないようである。「自分には無理」というハードルを越える何らかのサポートがあれば、団塊世代がアンサンブル・バンド活動に積極的に参加する可能性はあるということはできよう。

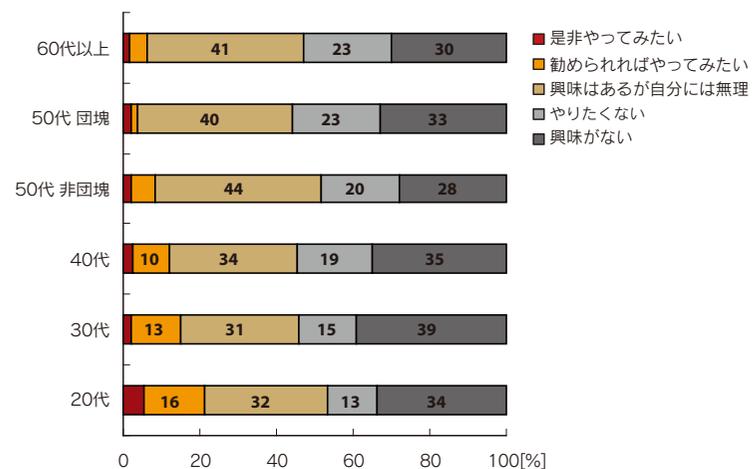


図 17-4 アンサンブル・バンド活動への興味

※Q17でアンサンブル・バンド等の活動経験が「ない」と答えた人のみが回答。

Q17-5：何をやってみたいですか？

Q17-5は、Q17-4でアンサンブル・バンド活動を「是非やってみたい」と回答した人に、やってみたい活動内容を答えてもらったものである。団塊世代ではQ17-4で「是非やってみたい」と答えた割合が2%（3名）と非常に少なかったた

め、ここでの回答は3名のみとなっている。団塊世代のやってみたいアンサンブル・バンド活動としては、「ロックバンド」という回答が2名、「オーケストラ」という回答が1名であった。

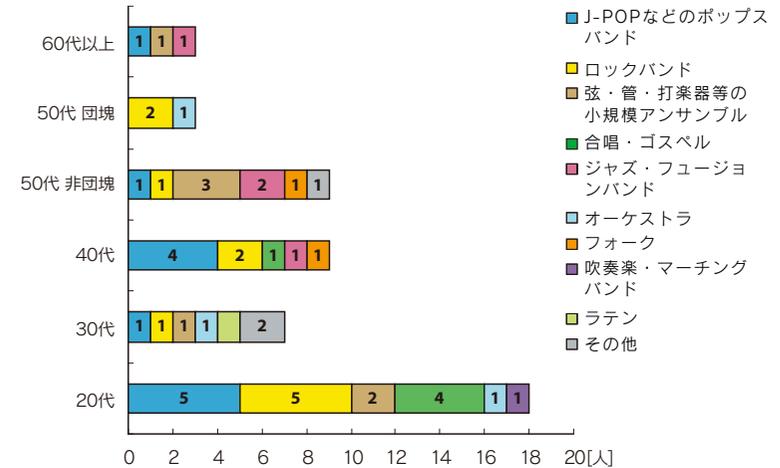


図 17-5 やってみたいアンサンブル・バンド活動内容

※Q17-4でアンサンブル・バンド活動を「是非やってみたい」と答えた人のみが回答。各世代とも非常に人数が少なかったため、パーセンテージではなく人数を示す。

Q15：インターネットやテレビ電話を活用した音楽レッスンをどう思いますか？

仮説：団塊世代はインターネットとの親和性を有し、楽器演奏習得にインターネットを活用したいと思っている。

どの世代においても「活用してみたい」という回答は約3割、「抵抗感がある」という回答が約7割であったが、30代のみ「活用してみたい」という回答が他の世代よりやや多かった。団塊世代で「活用してみたい」と

答えた割合は約23%であり、このデータから「団塊世代が楽器演奏習得にインターネットを活用したいと思っている」ということは現時点では難しいようである。

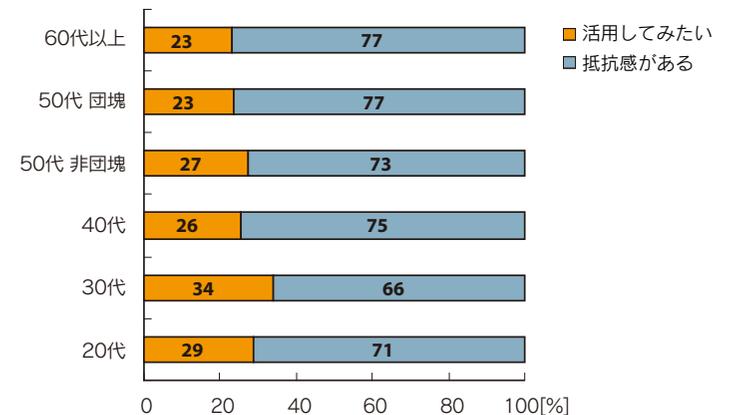


図15 インターネット・テレビ電話レッスンをどう思うか

Q15-2 : (Q15で「活用してみたい」と回答した人に) なぜそう思いましたか？

Q15-3 : (Q15で「抵抗感がある」と回答した人に) なぜそう思いましたか？

仮説：団塊世代はテクノロジーとの親和性を有するので、楽器演奏習得にもテクノロジーを活用したいと思っている。

【図 15-2】活用してみたい理由は、どの世代も「自宅でも受けることができるから」という回答が最も多く、次いで「好きな時間に受けられそうだから」という回答が多かった。「面白そう」という回答は若い世代ほど多かった。

【図 15-3】抵抗がある理由としては、どの世代も「自分には合

わない」という回答が最も多く、この回答は年齢が高い世代ほど多くなる傾向が見られた。意外なことに、若い世代ほど「面倒くさそう」という回答が多かった。「機器の操作が難しそう」という回答は、60代以上を除いてどの世代でも10%未満であったので、仮説の「団塊世代はテクノロジーとの親

和性を有する」という部分に関してはある程度支持されるといってよいだろう。

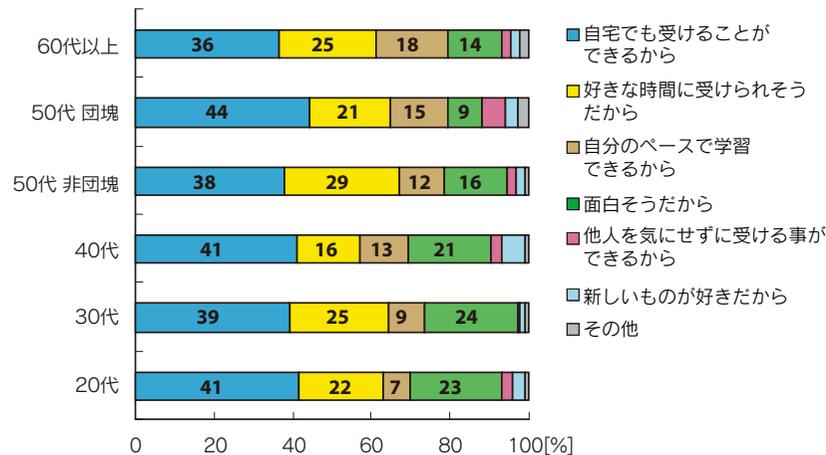


図 15-2 インターネット・テレビ電話レッスンを活用したい理由

※ Q15でインターネット・テレビ電話レッスンを「活用してみたい」と答えた人のみ回答。

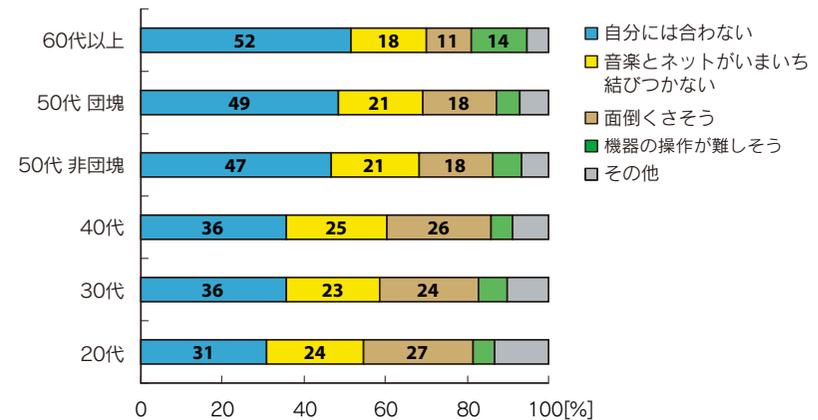


図 15-3 インターネット・テレビ電話レッスンに抵抗を感じる理由

※ Q15でインターネット・テレビ電話レッスンに「抵抗感がある」と答えた人のみ回答。

○まとめ

この調査での主眼は、『「バンド世代」「ビートルズ世代」といわれる団塊世代は、能動的な音楽の楽しみ方を好み、バンド等への愛着心も強く、音楽能力も60代と比べて高いものを持っている』と一般的に言われている説の検証である。この検証を通して、団塊世代に限らず年代や性別によって大人の音楽ライフスタイル・方向性の違いが顕著に現れ非常に興味深い結果が得られた為、大きく以下の3点をポイントとして解説し、最後に団塊世代固有の音楽ライフスタイルについて考察を加える。

(1) 各年代別の音楽志向について

(2) 音楽能力分布のグルーピング及び「壁」について

(3) 各世代別のコミュニケーション指向について

(4) 団塊世代音楽ライフスタイルについての考察

(1) 各年代別の音楽志向について

分析編で記述した通り、各世代での音楽体験や嗜好性の特徴として、①好きなジャンルは世代別に嗜好が異なる。②演歌に対しての嗜好性は年代が上がるにつれて顕著となるが、クラシックは若年層から高齢者まで満遍なく嗜好されている。③嫌いなジャンルは各世代「ない」という回答が一番多いにも関わらず、若年層の演歌嫌い、純邦楽／日本民謡に対しては各年代均等に嫌悪感が示されている。

また、どの世代においても20才前後に聞いた曲が深く印象に残っており、それらの楽曲には洋楽ではなく日本の歌が多い事も特記すべき特徴である。

これらの特徴が示される理由として複数の要因が考えられる。

● 音楽的に多感であった20代前後、いわゆる青春(15～22才程度)に「歌謡曲／演歌」が流行った世代層は現在の60代であり、それが思い出の曲として印象付けられている。

1937-1946年(S.12-21)生まれの60代世代の青春はだいたい1952-1968年(S.27-43)であり、昭和30年代＝「成長の時代」^{*1} そのものに一致する。

● 戦後日本の音楽教育が西洋音楽中心に取り組み、日本の音楽や大衆芸能そのものが軽視された結果、伝統文化に触れる機会が減少すると共に、西洋音楽とは違うその独特な歌唱法の継承者も減り、本来の「演歌」「民謡」を聴く機会が失われてきた。^{*2} 現在、テレビやネットなど日常的に触れるメディア上では上記のジャンルが取り上げられることは大変珍しく、若者にとっては、聴いた事がない上に悪い印象(かっこわるい・ダサイ)が先行してしまったジャンルといえる。

● 学校教育で学んだ西洋クラシック音楽は、興味がある人がそのまま継続して聴き続けたケースと共に、文芸・映画・ドラマ・CM等の挿入曲として印象付けられている人が多いことが推測できる。それに加え近年のクラシック音楽ブームが後押しを加えた結果、クラシック音楽を芸術音楽としてではなくいわゆるリスニング曲／映画音楽的な捉え方や印象を持っている人が多いと考えられる。

● 「思い出の曲」はそれぞれの生き様／人生を背景としており楽曲は集中せず分散する傾向にある。しかしながら、その楽曲は洋楽ではなく日本の楽曲が中心となっており、多感な青春に日本語の「歌詞」の影響を受けたせいではないかと考えられる。

一方音楽は、楽器演奏をはじめとした能動的な楽しみ方と、音楽鑑賞をはじめとした受動的な楽しみ方に大別する事が出来る。調査の結果より、若い世代ほど音楽の楽しみ方は多様であり年を重ねるにつれ受動的な楽しみ方をする人々が多くなることが判明した。

能動的な楽しみ方の一つとして楽器演奏に着目すると、全体としては若い世代の方が楽器経験率が高い。男女別では女性の方が若年層ほど楽器経験者が多い傾向に比べ、男性ではどの世代でも経験率はあまり変わらないことが特徴的である。また、楽器経験者は未経験の楽器に対して意欲的

あるが、楽器未経験者は特に高齢になるほど楽器の習得に意欲的ではないという結果を重ね合わせると、経験者が少ない現在の高齢者層では、楽器を新たに始めようとする心理的ハードルはかなり高く、楽器演奏をするぐらいなら他の数居の低い趣味に流れる可能性を示している。

しかし今後、団塊世代の後続層に楽器経験者が増えてくる為、休止・再開層が増大すると新しい楽器への挑戦者が増加する。これは新たな音楽普及施策の展開が期待できる事を示している。

関連して、未経験楽器を習得する上で楽器演奏に必要な能力は「音程が聴き分けられる事」「楽譜が読める事」がどの世代でも回答の3割を占めるが、高齢層ほど「楽譜が読めない」と楽器演奏は出来ない」という印象を持っている人が多い事は興味深い。

(2) 音楽能力分布のグルーピング及び「壁」について

全部で7カテゴリ(音程、音程と記憶力(2種類)、和音判別、パート抜け、音と図形的一致、メロディー穴埋め)の調査の結果得られた事は、①すべての年代層において、音楽経験者の方が高得点であったこと。②年代別において、20-40代のグループと、それ以外(50代以上)のグループに有為に音楽能力差が見られることである。この能力差の「壁」に関して、壁を前後した40代、50代のそれぞれの年代について、音楽的に多感であった青春のあたりの社会・技術動向、関連した音楽文化の変化を調べた。

	40代	50代
生まれた年	1957-1966年 (S.32-41)	1947-1956年 (S.22-31)
青春期の年代	1972-1988年 (S.47-63) 昭和50年代	1962-1978年 (S.37-53) 昭和40年代
メディアの変遷	テレビ放送拡大	ラジオ中心
ポピュラー音楽の特徴	ニューミュージック →J-POPへの変化, 演歌のポップ化	歌謡曲・ニューミュージック 和製フォーク
その他	●ウォークマン登場(1979) ^{*3} :→エアチェックをした音楽をどこでも聞ける環境。 ●ビデオデッキ普及開始: レンタルビデオ開始(1981年)→その後店舗が激増。 ^{*4}	大阪万博: 海外技術/文化の流入

上記の表より、音楽経験の量や質または内容に明らかな差があり、この影響を著しく受けた可能性が示唆される。また、この年代間の「壁」の前には楽器/習い事ブームの影響が大きく、ピアノの普及(出荷台数の向上、子どもの習い事上位にピアノがランクインする)等、音楽教室の普及が大きく進んだ時期でもある。また、音楽文化の変化として見逃せないのはこの年代間の大学進学率の劇的な向上^{*5}である。自由な時間を多く取れる学生時代に音楽活動を積極的にこなす学生の影響が世の中の様々な音楽ブームを作り上げた、もしくはそのきっかけとなったという構図も浮かび上がるのではないだろうか。

また、上記の要因以外に考えられるそれぞれのグループの能力差の原因として、

- 人間そのものの音楽感覚認識の年齢的な能力の限界。
- 記憶力等年齢によって変化する能力の要素と音楽感覚との関連。
- Web調査に起因するテスト手法に関する理解度及び対応力の年齢差。

等が考えられる。

これらは今回の調査においては詳細の分析が不可能であったもの、もしくはより本質的な研究が待たれる分野も多く関連する為、具体的内容の精査は今後の詳細な調査に委ねる事としたい。今後この「壁」を隔てたグループに対して、音楽普及施策の内容もしくは方法・手段が異なるかどうか更なる研究へのアプローチも必要とされるであろう。

(3) 各世代別のコミュニケーション指向

本報告書分析編(P.17 Q12-3)「楽器が弾けるようになったら、何をしたいと思いますか?」という問いに対して、「自分で楽しみたい」と答えた割合が半数以上あり、高年齢になるほど大きくなる傾向があることがわかった。一方、子どもなど「家族と楽しみたい」という意見は30代・60代に多いことから、小さい子どもあるいは孫とのコミュニケーションを音楽によって図りたいと望んでいる事がわかるが、基本的には音楽や楽器を使って積極的にコミュニケーションしたいと望んでいる層が薄い事がわかる。

関連して、音楽を能動的に楽しむ積極的な方法として、他人とのアンサンブル/バンド活動に注目した調査を行ったが、これも実際のアンサンブル/バンド経験は学校での部活動(吹奏楽等)が盛んであった若い女性層以外どの世代層でも少なく、特に高年齢層ではその傾向が著しいことがわかる。「バンドやアンサンブルの経験をしてみたいか」という問いに対して、どの年代層からも積極的な回答を得る事は出来ず、「興味はあるが自分には無理」という回答が大多数であった。このことから、技術的な自信のなさを解消する具体的なソフト開発とともに、「自分には無理」という精神的なハードルを越える何らかのサポートがバンド活動を推進するには必須であるといえる。

また、団塊世代のアンサンブル願望に着目すると、男性は人前で演奏を披露する事への憧れを持ち、女性はプライベートで楽しみたい傾向が強い事も興味深い。

一方、インターネットを使用した音楽レッスンに対する興味を聞いたところ、全体的に「抵抗感がある」という回答が多く得られた。活用してみたい理由として「自宅でも受ける事が出来る」「好きな時間に受けられる」といった時間制約・拘束に関する要素をあげる傾向に対し、抵抗がある理由として「自分に合わない」「面倒くさい」「ネットが信用できない」等、音楽とリアルコミュニケーションが表裏一体のものであり、分離してまで習いたくないという意思を示している。

これは、①インターネットを使用した音楽レッスンのイメージが浸透していない事による誤解、②ネットそのものに信頼感が低いイメージがあること、が考えられるが、置き換えると、ネットレッスンの手法としてはリアルレッスンとの併用をする等、先生と生徒のコミュニケーションの取り方に充分考慮する必要があることを示している。

しかしながら、自由回答からは子どもの面倒を見る必要がある30代女性、身体の自由が効きにくくなっている60代男女層等、インターネットレッスンの恩恵を深く得られる層からはインターネットレッスンの期待値が非常に大きい事がわか

る。従って、インターネット遠隔レッスンは現状活用されている「上級／プロ用途」以外、コンシューマーをターゲットとした場合には30代／60代層、もしくは病院・高齢者施設などにいる身体の自由が効かない人等に対して活用が期待出来る可能性がある。

(4) 団塊世代音楽ライフスタイルについての考察

今回の調査においては様々な仮説を立て、60才以上と団塊世代の差、50才代の非団塊世代と団塊世代との差に注目をしたが、調査結果からは団塊と60才代との差はあまり見られず、世の中で言われているような「バンド世代」は実際にはポスト団塊世代である非団塊50才代にその傾向が顕著であることが判明した。また、フォークブームやバンドブームの先頭に立ち牽引したのは確かに団塊世代であったが、数としては極めて少数であり、実際にライフスタイルとして取り入れたのは50才代非団塊世代以降であることも調査結果で示唆された。

一方、音楽感覚テストでも団塊と60才代との差はあまり見られず、実際に差が出たのは40才代以下のグループと50才代以上の二つの大きなグループの差であった。この背景としては、ピアノブームや音楽教室・ポプコンの隆盛や更にはウォークマンの普及等1970年代から音楽が世の中に溢れ、50才未満の世代が幼少年期以降にその洗礼を受けた結果であることが推測される。

つまり、2007年以降に定年を迎える団塊世代は数としては大きな塊であるが、実際に定年を迎えた人々によって形成される音楽マーケットが「オヤジバンド」等で活況を呈し、期待できるのは、その後続く非団塊世代が定年を迎える数年後まで待たなければならないかもしれない事を、調査結果は示唆している。

しかしながら、何らかの音楽的サービスやソフトを団塊世代の潜在音楽需要層に提供し、潜在層を顕在化することも

可能であると思われる。何故なら、音楽においても新しい潮流を作ったのはやはり団塊世代の中の先進的グループ及び大学生の極少数であり、当時の大学進学率や社会背景では、大多数の人々はフォークやバンドをラジオで聞いたり、活動に憧れ感は抱くことはあっても音楽を能動的に楽しむ時間と経済的余裕はなかったのである。このような、潜在音楽需要層の多い可能性のある団塊世代に対して、新しい音楽スタイルの提案はまさしく今がスタート時期であると言える。

調査結果からは、楽器未経験の団塊世代で新たに楽器に取り組む意思を持つ人々は少数であるが、その要因の多くは「楽譜が読めない」「自分には無理」といった諦めが起因しており、その諦めを払拭する「音楽ソフト」と「60歳からの初心者でも音楽が楽しめるようになった」という「実証事例」が提示できれば、新たなマーケットが広がる可能性はあるのではないだろうか。

かつて、ポプコンをはじめ新しい音楽の潮流を作った団塊世代の当時の大学生は数も少なく、学生時代の数年しか音楽活動に時間がかけられなかったが、これからは、大勢の団塊世代が20年以上の膨大な可処分時間を抱えているのである。今後団塊世代の潜在音楽需要層を①楽器経験者の再開志願層、②楽器未経験潜在層に仕分けをし、夫々が音楽活動を再開ないし開始するための最適化された新しい音楽ソフトやツールの提供が望まれる。定年退職後の団塊世代がかつてのフォークブームやバンドブーム、更にはピアノやエレクトーンブームなどの新しい音楽の潮流を再度作りうる可能性は充分にありうるだろう。

団塊世代を語る音楽的キーワード

- ・クラシック、ジャズ、フォーク好き。演歌は不人気。
- ・根強いクラシック愛好：ピアノ学習、学校音楽、メディア(文学・ラジオ・映画・テレビ・CM等)との抱合せの影響。モーツァルトブーム、オーディオブーム。
- ・思い出は20才代に聴いた日本の歌：歌詞の力が大きく洋楽は思い出に残りにくい。
- ・ピアノ願望が強く憧れ感が大きい。
- ・バンド経験は少ないが興味はある。
- ・遠隔レッスン：必然性に応じて利用拡大の可能性あり。
- ・楽器演奏には音感や読譜力が必要だと思い込んでいる。
- ・高級楽器志向

参考文献

- ※ 1 「タイムスリップ昭和30年代の歌」、柴田勝章ら著、英知出版(2006)
- ※ 2 「『演歌』のすすめ」、藍川由美著、文藝春秋新書(2002)
- ※ 3 「ウォークマン台数遷移」、ソニー社(2007/4)
http://www.sony.co.jp/SonyInfo/News/Press_Archive/19907/99-059/
- ※ 4 「J-POPマーケティング」、岸本裕一著、中央経済社(2001)
- ※ 5 「平成17年度学校基本調査速報」、文部科学省(2007/4)
http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/001/04073001/index.htm

参考資料・年表

年	年号	各世代の年齢					主な出来事 (赤字は海外)	主なテクノロジー (赤字は海外)	日本の主な メディアシーン	レコード大賞 受賞曲	ポプコン グランプリ受賞曲	世界歌謡祭 グランプリ受賞曲	日本で流行したヒット曲	日本で流行したテレビ番組	日本で流行した邦画	日本で流行した洋画
		60	55	50	45	40										
1945	昭和20						第2次世界大戦終結						「リンゴの歌」並木路子		「そよ風」佐々木康監督・上原謙・並木路子	
1946	昭和21											「リンゴの歌」霧島昇・並木路子 「悲しき竹笛」近江俊郎・奈良光枝 「東京の花売娘」岡春夫 「かえり船」田端義夫		「大曾根家の朝」木下恵介監督・杉村春子・小沢栄太郎 「はたちの青春」佐々木康監督・幾野道子・大坂志郎 「わが青春に悔なし」黒澤明監督・原節子・藤田進		「キューリー夫人」「カサブランカ」「運命の翼」 「我が道を往く」
1947	昭和22	0						トランジスターをベル研究所が開発				「啼く小鳩よ」岡晴夫 「夜のプラットホーム」二葉あき子 「夜霧のブルース」ディック・ミネ 「港が見える丘」平野愛子 「山小舎の灯」近江俊郎 「嵐の流れに」菊池章子 「みかんの花咲く丘」川田孝子		「安城家の舞踏会」吉村公三郎監督・原節子・滝沢修・森雅之 「戦争と平和」山本薩夫監督・亀井文夫監督・伊豆肇・岸旗江 「銀嶺の果て」谷口千吉監督・志村喬・三船敏郎・若山セツ子		「アメリカ交響楽」第七のヴェール
1948	昭和23	1						美空ひばりデビュー				「東京ブギウギ」笠置シズ子 「フランチェスカの鐘」二葉あき子 「異国の丘」竹山進郎・中村耕造 「湯の町エリゼ」近江俊郎 「憧れのハワイ航路」岡晴夫		「誰いどれ天使」黒澤明監督・志村喬・三船敏郎 「夜の女たち」溝口健二監督・田中絹代・高杉早苗 「玉将」伊藤大輔監督・坂東妻三郎・水戸光子		「美女と野獣」「旅路の果て」「ヘンリー五世」「我等の生涯最良の年」「シベリア鉄道」
1949	昭和24	2										「トロンコ」久保・幸江・橋本繁夫 「青い山脈」藤山一郎・奈良光枝 「銀座カンカン娘」高峰秀子 「長崎の鐘」藤山一郎 「悲しき口笛」美空ひばり		「女の一生」亀井文夫監督・岸旗江・沼崎勲 「青い山脈」今井正監督・杉葉子・若山セツ子 「戦車」小津安二郎監督・原節子・笠置シズ子 「野良犬」黒澤明監督・志村喬・三船敏郎		「戦火のかたわら」「平和に生きる」「せむしの仔馬」「哀愁」 「大いなる幻影」「ハムレット」
1950	昭和25	3					朝鮮戦争勃発	ソニーが日本初のテープレコーダーを発売				「夜来香」山口淑子 「水色のワルツ」二葉あき子 「高港のチャイナタウン」渡辺はま子 「白い花の咲く頃」岡本敦郎 「東京キッド」「越後獅子の唄」美空ひばり		「暴力の街」「ヘン偽らず」山本薩夫監督・志村喬・原保美 「戦の脱走」谷口千吉監督・池部良・山口淑子 「また逢う日まで」今井正監督・岡田英次・久我美子 「きけわだつみのこえ」関川秀雄監督・伊豆肇・沼田曜一 「羅生門」黒澤明監督・三船敏郎・京マチ子		「白雪姫」「赤い靴」「自転車泥棒」「無防備都市」「田圃交響楽」
1951	昭和26	4							EPレコード発売 第1回NHK紅白歌合戦			「高原の駅よさようなら」小畑実 「上海帰りのリル」津村謙 「トロンコ」久保幸江・加藤雅夫 「野球小僧」灰田勝彦 「雪山賛歌」 「泉のほとり」		「カルメン故郷に帰る」木下恵介監督・高峰秀子・佐野周二 「めし」成瀬巳喜男監督・上原謙・原節子 「愛妻物語」新藤兼人監督・宇野重吉・乙羽信子		「邪魔者は殺せ」「オルフェ」「我が谷は緑なりき」「サンセット大通り」「黄色いリボン」「パンピ」
1952	昭和27	5	0									「テネシー・ワルツ」江利チエミ 「リンゴ追分」美空ひばり 「ああモントネルハの夜は更けて」渡辺はま子・宇都美清 「グレイシャー・ワルツ」神楽坂はん子		「生きる」黒澤明監督・志村喬 「原爆の子」新藤兼人監督・乙羽信子・滝沢修 「山びこ学校」今井正監督・木村功 「異空地帯」山本薩夫監督・木村功・下元勉 「西鶴一代女」溝口健二監督・田中絹代		「天井桟敷の人々」「風と共に去りぬ」「チャップリンの殺人狂時代」「第三の男」「河」
1953	昭和28	6	1					NHKと日本テレビがテレビ放送開始				「君の名は」織井茂子 「雪の降るまちを」高英男 「街のサンドイッチマン」鶴田浩二 「五木の子守唄」照菊		「七人の侍」黒澤明監督・三船敏郎・志村喬 「里見八犬伝」河野寿一監督・東千代之介・中村錦之助 「二十四の瞳」木下恵介監督・高峰秀子 「ゴジラ」本多猪四郎監督・河内桃子・宝田明		「シエーン」「終着駅」「禁じられた遊び」
1954	昭和29	7	2				3種の神器(冷蔵庫・洗濯機・掃除機) 力選山プロレス旋風			サッチモ日本ツアー		「高原列車は行く」岡本敦郎 「愛の賛歌」旗原男 「お富さん」春日八郎 「岸壁の母」菊池章子 「原爆許すまじ」		「七人の侍」黒澤明監督・三船敏郎・志村喬 「里見八犬伝」河野寿一監督・東千代之介・中村錦之助 「二十四の瞳」木下恵介監督・高峰秀子 「ゴジラ」本多猪四郎監督・河内桃子・宝田明		「グレン・ミラー物語」「ローマの休日」「波止場」「嘆きのテレーズ」「恐怖の報酬」「しのびっこい」
1955	昭和30	8	3									「この世の花」「りんどう峠」鳥倉千代子 「女船頭唄」三橋美智也 「月がとっても青いから」菅原都々子 「ガード下の靴みがき」宮城まり子 「別れの一本杉」春日八郎		「浮雲」成瀬巳喜男監督・高峰秀子 「血槍富士」内田吐夢監督・片岡千恵蔵 「夫婦善哉」豊田四郎監督・森繁久彌・淡島千景 「野菊の如き若かりき」木下恵介監督・内田紀子		「エデンの東」「暴力教室」「鉄路の闘い」「クリシース」
1956	昭和31	9	4									「リンゴ村から」「哀愁列車」三橋美智也 「愛ちゃんはお嫁に」鈴木三重子 「若いお巡りさん」菅原史郎 「ケ・セラ・セラ」ベギー・葉山 「ハート・ブレイク・ホテル」小坂一也		「早春」小津安二郎監督・池部良・岸恵子 「リルマの囁き」市川崑監督・安井昌二 「チロリン村とくまの木」「お笑い三人組」「春夏秋冬」 「太閤の季節」長門裕之・南田洋子・石原裕次郎		「ベニグッドマン物語」「わんわん物語」「オセロ」「居酒屋」
1957	昭和32	10	5	0								「東京だよおっ母さん」鳥倉千代子 「バブナ・ポート」浜村美智子 「チャンチキおどき」三波春夫 「有楽町で逢いましょう」フランク永井		「蜘蛛巣城」黒澤明監督・三船敏郎・山田五十鈴 「明治天皇と日露大戦争」渡辺邦男監督・嵐寛寿郎 「幕末太陽伝」川島雄三監督・フランキー堺 「喜びも悲しみも幾歳月」木下恵介監督・佐田啓二・高峰秀子		「翼よ！ あれば巴里の灯た」「戦場にかける橋」「汚れたなき悪戯」
1958	昭和33	11	6	1				米航空宇宙局(NASA)創設 東京タワー完成				「だから行ったじゃないの」松山恵子 「おーい中村君」若原一郎 「からたち日記」鳥倉千代子 「星はなんでも知っている」「ダイアナ」平尾昌章 「母さんの歌」		「橋山節子」木下恵介監督・田中絹代 「火土」市川崑監督・市川雷蔵 「駅前旅館」豊田四郎監督・森繁久彌・伴淳三郎 「張込み」野村芳太郎監督・宮口精二・太木実 「白蛇伝」数下泰次監督		「死刑台のエレベーター」「鉄道員」「ほくの伯父さん」 「老人と海」「大いなる西部」「十戒」「健」
1959	昭和34	12	7	2								「南国土佐を後にして」ベギー・葉山 「黒い花びら」水原弘 「東京ナイトクラブ」フランク永井・松尾和子		「人間の条件」小林正樹監督・仲代達矢 「浪花の恋の物語」内田吐夢監督・中村錦之助・有馬稲子 「にんあちゃん」今村昌平監督・長門裕之 「キターを持った渡り鳥」斎藤武市監督・小林旭・金子信雄・穴戸錠・浅丘ルリ子		「灰とダイヤモンド」「恋人たち」「いとご同志」「十二人の怒れる男」「さすらい」
1960	昭和35	13	8	3								「誰よりも君を愛す」松尾和子・和田家とマヒナスターズ 「アカシアの雨がやむ時」西田佐知子 「潮来笠」橋幸夫 「有難や節」守屋浩 「月の法曹様横丁」藤島恒夫		「人間の条件」小林正樹監督・仲代達矢 「浪花の恋の物語」内田吐夢監督・中村錦之助・有馬稲子 「にんあちゃん」今村昌平監督・長門裕之 「キターを持った渡り鳥」斎藤武市監督・小林旭・金子信雄・穴戸錠・浅丘ルリ子		「太陽がいっぱい」「黒いオルフェ」「ベン・ハー」「サイコロ」渚にて

年	年号	各世代の年齢					主な出来事 (赤字は海外)	主なテクノロジー (赤字は海外)	日本の主な メディアシーン	レコード大賞 受賞曲	ポプコンクラブ り受賞曲	世界歌謡祭グラン プリ受賞曲	日本で流行したヒット曲	日本で流行したテレビ番組	日本で流行した邦画	日本で流行した邦画	
		60	55	50	45	40											35
1961	昭和36	14	9	4					フリー・ジャズが流行 りたす	君恋し/フランク永井		「東京ドンパチ」渡辺マリ 「銀座の恋の物語」石原裕次郎・牧村千 「君恋し」フランク永井 「スーダラ節」楠木等 「上を向いて歩こう」坂本九 「王将」村田英雄	「娘と私」夢で逢いましょう「シャボン玉ホリデー」 「七人の刑事」特別機動捜査隊「アンタッチャブル」 「スチャラカ社員」「若い季節」	「名もなく哀しく美しく」松山善三監督・高峰秀子、 小林桂樹 「赤穂浪士」・松田定次監督・片岡千恵蔵・中村錦之 「七人の刑事」特別機動捜査隊「アンタッチャブル」 「スチャラカ社員」「若い季節」 「不良少年」羽仁進監督・山田幸男 「用心棒」黒澤明監督・三船敏郎	「ウエストサイド物語」「草原の輝き」「夜と霧」「素晴 らしい風船旅行」「地下鉄のザジ」		
1962	昭和37	15	10	5	0				ラテンダンス・ジャズの ブーム、イパネマの娘 Desafinado 「O77は親しの番号」	いつでも夢を/橋幸夫・ 吉永小百合		「可愛いベイビー」中尾ミエ 「いつでも夢を」橋幸夫・吉永小百合 「遠くへ行きたい」ジェリー藤尾 「下町の太陽」倍賞知恵子	「ベン・ケーシー」「コンバット」「隠密剣士」「判決」 てなもんや三度笠	「キューボーのある街」浦山桐郎監督・吉永小百合 「おとし穴」勅使河原宏監督・井川比佐志 「初顔」小林正樹監督・仲代達矢・三国連太郎	「情事」「尼僧ヨアンナ」「101匹わんちゃん大行進」 「野いちご」		
1963	昭和38	16	11	6	1			ケネディ大統領暗殺		坂本九「スキヤキ」、ピ ルポート第1位	ごんにはち赤ちゃん/梓 みちよ	「高校三年生」舟木一夫 「高校三輪音頭」三波春夫 「ごんにはち赤ちゃん」梓みちよ 「浪曲子守唄」一節太郎 「勇船」井沢八郎	「あかつき」「花の生涯」「ロンパールーム」「鉄腕アト ム」「夫婦貴族」	「天国と地獄」黒澤明監督・三船敏郎・仲代達矢 「武士道残酷物語」今井正監督・中村錦之助	「アラビアのロレンス」「007は殺しの番号」「大脱走」 「奇跡の人」		
1964	昭和39	17	12	7	2			東京オリンピック開催 東海道新幹線開業		日本で世界ジャズ・フェ スティバル、マールス・ デヴィスが出演	愛と死をみつめて/青 山和子	「お座敷小唄」和田宏とマヒナスターズ 「アコ椿は恋の花」都はるみ 「涙を抱いた渡り鳥」水前寺清子 「愛と死をみつめて」青山和子	「うず潮」「ひよこりひょうたん島」「七人の孫」「木 島剛夫モーニングショー」「赤穂浪士」「たぐいま 11人」 「題名のない音楽会」「忍者部隊月光」「お天気マ さん」	「越後ついでし親不知」今井正監督・三国連太郎 「赤い殺意」今村昌平と会吉・西村晃・春川すみ 「愛と死をみつめて」斎藤武市監督・吉永小百合 「砂の女」勅使河原宏監督・岸田今日子	「突然炎のごとく」「アメリカ・アメリカ」「マイ・フェ ア・レディ」		
1965	昭和40	18	13	8	3					美空ひばり	美空ひばり 「愛して愛して愛しちゃったのよ」田代美代子 「函館の女」北島三郎 「運の連絡船」都はるみ	「たまゆら」「太陽記」「スタジオ102」「11PM」「サカ ド島」「おほけのQ太郎」「サゼさん(実写)」「奥様 スタジオ」「青春とは何だ」	「証人の椅子」山本薩夫監督・奈良岡朋子 「日本列島」熊井啓監督・宇野重吉・二谷美明 「赤ひげ」黒澤明監督・三船敏郎・加山雄三 「東京オリンピック」東京オリンピック映画協会・市 川崑監督	「野望の系列」「サウンド・オブ・ミュージック」 「B 2/1」			
1966	昭和41	19	14	9	4					ビートルズ来日	霧氷/橋幸夫	「星影のワルツ」千昌夫 「君といつまでも」加山雄三 「青春で愛して」城幸夫 「夢は夜ひらく」園まり 「霧氷」橋幸夫 「バラが咲いた」マイク真木 「ごまっちゃうな」山本リンダ 「嵐のフラメンコ」西郷輝彦		「おはなはん」「サンダーバード」「笑点」「ウルトラマ ン」 「人知れぬ」今村昌平監督・小沢昭一・坂本スミ子 「他人の顔」勅使河原宏監督・仲代達矢・京マチ子 「白い巨塔」山本薩夫監督・田宮次郎・東野英治郎	「市民ケーン」「戦争と平和」「大地のうた」「男と女」		
1967	昭和42	20	15	10	5	0		3C時代(カラテレ ビ・クーラー・車) 日本の人口1億人突破	「ローリング・ストーン」 創刊	秋吉敏子、ビッグバンド を結成	ブルー・シャトウ/ ジャッキー・吉川とブ ルー・コメッツ	「小指の思い出」伊東ゆかり 「ブルー・シャトウ」ジャッキー・吉川とブルー・コメツ 「帰ってきたヨッパライ」ザ・フォーク・クルセダーズ 「世界は二人のために」佐良直美 「命かかても」森進一	「旅路」「スバ火作戦」「白い巨塔」「コメットさん」「ザ・ モンキーズ」	「日本春歌考」大島渚監督・荒木一郎 「上意討ち」小林正樹監督・三船敏郎・司葉子 「人間蒸発」今井正監督・早川佳江 「日本のいちばん長い日」岡本善八監督・三船敏郎・ 宮口精二	「夕陽のガンマン」「欲望」「アルジェの戦い」「夜のた 探偵録」		
1968	昭和43	21	16	11	6	1		3億円事件発生				「盛り場ブルース」森進一 「受験生ブルース」高石友也 「花の首飾り」ザ・タイガース 「天使の誘惑」黛ジュン 「恋の季節」ピンキーとキラーズ 「好きになった人」都はるみ 「フルライトヨコハマ」いしだあゆみ	「あしたこそ」「連想ゲーム」「巨人の星」「研七くあ さん」「ローラーゲーム」	「黒部の太陽」熊井啓監督・三船敏郎・石原裕次郎 「肉弾」岡本善八監督・寺田農・大谷直子 「彼女達の深き欲望」今村昌平監督・河原崎長一郎・沖 山秀子	「俺たちに明日はない」「2001年宇宙の旅」「卒業」「猿 の惑星」「ベトナムから遠く離れて」		
1969	昭和44	22	17	12	7	2		アポロ11号月面着陸			第1回作曲コンクール (ポプコン)	いいじゃないの幸せな らば/佐良直美	「今日でお別れ」菅原洋一 「長崎は今日も雨だった」内山洋とクールファイブ 「津町ブルース」森進一 「いいじゃないの幸せならば」佐良直美 「フアンシーヌの場合」新谷のり子 「黒猫のタンゴ」前川おさむ	「虹」とおぼちゃん「天と地と」「巨泉」前武ケガバ 「バロウの」ムーン・「豪華船をフックばせ」水戸黄 門「18時だヨ!全員集合」「サインはV」「ヤング おー!おー!」「ベルトクイズQ&Q」「連想ゲーム」 「プレイガール」	「心中天狗島」篠田正浩監督・岩下志麻・中村吉右衛 門 「肉弾」岡本善八監督・寺田農・大谷直子 「私に響けた女」浦山桐郎監督・河原崎長一郎・浅丘 ルリ子 「男はつらいよ」山田洋次監督・渥美清・倍賞千恵子	「アポロンの地獄」「if...もしも」「泳ぐ人」「真夜中の カーボーイ」「ローズマリーの赤ちゃん」	
1970	昭和45	23	18	13	8	3		大阪万博開幕			できごと/弘田三枝子 暹/沖一郎 時は気づかない/ビ ース・メーカーズ	ナオミの夢/ヘド ヴ・アンド・ダヴィ ッド	「虹」「根の木は残った」「時間ですよ」「ありがとう」 「細うで繁盛記」「日本史探訪」「大江戸捜査網」「ス テージ101」「あしたのショー」「おくさまは18歳」	「戦争と日本」山本薩夫監督・滝沢修・岸田伸介 「肉弾」山田洋次監督・倍賞千恵子・井川比佐志 「エロス+虐殺」吉田喜重監督・岡田茉莉子・細川 俊之	「イメージ・ライダー」「明日に向かって撃て」「抵抗 の詩」「サテリコン」		
1971	昭和46	24	19	14	9	4					Please Please Please/ヒデとロザ ナ 雨/モップス	また逢う日まで/尾崎 紀彦	「ただ愛に生きるだけ」 マルティニス・クレマ ンソー 「出発の歌~失われた時 を求めて~」上原博彦 と穴文義	「獅子ひとり」「天皇の世紀」「スター誕生!」「仮面ラ イダー」「俺の坂道」「天下御免」「俺は男だ!」「つく し誰の子」	「娘という女」今井正監督・岩下志麻 「儀式」大島渚監督・河原崎健三 「沈黙」篠田正浩監督・ティットラフソン・マコ 岩松	「わが青春のフロレンス」「ライアの娘」「愛の愛 の詩」「屋根の上のバイオリン弾き」「哀しみのトリス ターナ」	
1972	昭和47	25	20	15	10	5	0	沖縄返還 冬季オリンピック札幌大 会開催			忘れはすの愛/伊藤 愛子 何処へ/モップス 冬きこことが人生さ/ アーニー・スミス	恋のフィーリング/カ プリコーン 「男の子の恋」細ちろ み 「新戸の花嫁」小柳ルミ子 「女の心」ひんからトリ オ 「喝采」ちあきなおみ	「藍より青く」「木枯らし寂次郎」「新・平家物語」「太 陽にはほろり」「セサミ・ストリート」「中学生日記」	「忍ぶ心」熊井啓監督・栗原小巻・加藤剛 「悪魔はたく下に」深作欣二監督・丹波哲郎・左 幸子 「故郷」山田洋次監督・井川比佐志・倍賞千恵子	「処刑場のメロディ」「フェリーニのローマ」「時計じ かけのオレンジ」「ゴッドファーザー」「キャバレー」		
1973	昭和48	26	21	16	11	6	1	第1次オイルショック			あなた/小坂明子 パリは不思議/シルダ ・ジュリアーニ 「神田川」かくや姫 「あなた」小坂明子 「あみだの操」殿さまキングス	「危険なふたり」沢田研二 「神田川」かくや姫 「あなた」小坂明子 「あみだの操」殿さまキングス	「刑事コロンボ」「国盗り物語」「北の家族」「子連れ狼」 「どてら男」	「仁義なき戦い」深作欣二監督・金子信雄・菅原文太 「青幻記」成島東一郎監督・賀来敦子・田村高広 「朝やけの詩」熊井啓監督・北小路啓也・関根恵子 「津軽じょうぶら節」斎藤耕一監督・江波杏子	「ジャッカルの日」「ジョニーは戦争へ行った」「スケ アククロウ」「ホセイドン・アドベンチャー」		
1974	昭和49	27	22	17	12	7	2	長島茂雄現役引退			恋のささやき/小坂明 子 チャップリンに愛をこ めて/チューイング ガム	夢みる心地/エレ ン・ニコライセン いつのまにか君は/浜 田良美	「うそ」中森さよし 「ひと夏の経験」山口百恵 「昭和枯れすき」さくらと一郎 「ふれあい」中村雅俊	「水色の時」「おやようさん」「俺たちの旅」「欲ちゃん のドンとやってみよう!」「テレビ三面記事・ウィ ンクエンター」「前略おふく様」「ひょっこり日本新記録」	「華麗なる一族」山本薩夫監督・佐分利信・月丘夢路 「赤ちょうちん」藤田敏八監督・秋吉久美子 「霧の器」野村芳太郎監督・加藤剛 「サンダンカ八番組曲」望郷・熊井啓監督・栗原小巻・ 田中絹代	「ガラスの熱い日」「エクソシスト」「ステイキング」「ア メリカの夜」「エマニエル夫人」	
1975	昭和50	28	23	18	13	8	3		ソニー、家庭用VTRを 発売		シクラメンのかほり/ 布原明	わたり鳥/七根神 時代/中島みゆき	ラッキー・マン/ミス ター・ロコ 時代/中島みゆき	「港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ」ダウンタウン・プギウ キ・バンド 「シクラメンのかほり」布原明 「心のこり」細川ひさ子 「ロマンス」岩崎宏美 「およけ!たいやきくん」子門真入	「水色の時」「おやようさん」「俺たちの旅」「欲ちゃん のドンとやってみよう!」「テレビ三面記事・ウィ ンクエンター」「前略おふく様」「ひょっこり日本新記録」	「青春の時代」浦山桐郎監督・田中健・大竹しのぶ・吉 永小百合 「金魚環」山本薩夫監督・宇野重吉・仲代達矢 「霧の器」黒木和雄監督・江藤潤・竹下景子	「薔薇のスタビスキー」「デルス・ウザラ」「タワー リングインフェルノ」「JAWS・ジョーズ」

年	年号	各世代の年齢					主な出来事 (赤字は海外)	主なテクノロジー (赤字は海外)	日本の主な メディアシーン	レコード大賞 受賞曲	ポプコンクラブ り受賞曲	世界歌謡祭グラン プリ受賞曲	日本で流行したヒット曲	日本で流行したテレビ番組	日本で流行した邦画	日本で流行した邦画
		60	55	50	45	35										
1976	昭和51	29	24	19	14	9	4	中国天安門事件		北の宿から／都はるみ	グッドバイ・モーニング / サンディー、アイ鏡 / ホワイトハウスII	せつなく甘く / フランク & レジーナ グッドバイ・モーニング / サンディー	「一番」キャンディーズ 「山口さんちのツトム君」みなみらんぼう 「横溝狭土郎」山口百恵 「嫁にこないか」新沼謙治 「メランコリー」梓みちよ 「あはよ」研ナオコ 「かめくぐる青春」ビューティィー・ベア 「ベッパ〜書部」ピンクレディー	「雲のじゅうたん」「風と雲と虹と」「落日燃ゆ」「火の国に隣る芝生」「ドカベン」「織子の部屋」「クイズスタービー」	「はだしのゲン」山田典吾監督・三國連太郎 「犬上家の一族」市川崑・石坂洋次郎 「青春の殺人者」長谷川和彦監督・水谷豊・原田英枝子 「君よ憤怒の河を渡る」佐藤純也監督・高倉健 「愛のコリダ」大島渚監督・松田咲子・藤竜也	「タクシー・ドライバー」「カッコーの巣の上で」
1977	昭和52	30	25	20	15	10	5	平均寿命男女とも世界一 王貞治756本塁打	キャンディーズ引退	勝手にしやがれ / 沢田研二	さよならの言葉 / 小野亜代子 あなたのバラード / 世良公則 & ツイスト	「津軽海峡冬景色」石川さゆり 「北国の春」長谷川裕見子 「勝手にしやがれ」沢田研二 「ワオレット」U.F.O.ピンクレディー 「昔の名前で出ています」小林旭	「いちばん星」「風見鶏」「岸辺のアルバム」「男たちの旅路」「シルバース・シート」「海や霧る」ROOTS ルーツ」「チャールズ・エンジェル」	「八甲田山」森谷司郎監督・高倉健・北大路欣也 「宇宙戦艦ヤマト」舛田利雄監督 「幸福の黄色いハンカチ」山田洋次監督・高倉健・倍賞千恵子 「はなれ瞿女おりん」横田正浩監督・若下忠彦・原田芳雄 「ねむの木」詩がきこえる」宮城まり子監督・平田安彦・宮城まり子	「ロッキー」「鬼火」	
1978	昭和53	31	26	21	16	11	6	新東京国際空港開港		UFO / ピンク・レディー	10月の夕映は寒かつた / U.U. 夢想花 / 円広志	夢想花 / 円広志 ラブ・ロック / ティナ・チャールズ	「サウスポー」モンスター・ピンクレディー 「夢追い酒」演美二郎 「作伴」北島三郎 「フレイバック part2」山口百恵 「ガンダーラ」コダイコ	「サード」東陽一監督・永島敏行・島倉千代子 「野生の証明」佐藤純也監督・高倉健・薬師丸ひろ子 「曾根崎心中」増村保造監督・根岸英子・宇崎竜童 「事件」野村浩太郎監督・松坂慶子・大竹しのぶ	「家族の肖像」「未知との遭遇」「スター・ウォーズ」「サタデー・ナイト・フィーバー」	
1979	昭和54	32	27	22	17	12	7	第2次オイルショック		ソニー、ウォークマンを発売	流浪(さまよい) / 小柳孝人 & Box Office Band I Wait For You / Lisa Lee 大都会 / クリストルキング	「流浪(さまよい)」小柳孝人 & Box Office Band 「待て」ジェディ・オング 「おおいで酒」小林幸子 「贈る言葉」海援隊 「おやじの海」村木賢吉	「YOUNG MAN」西城秀樹 「魅せられて」ジェディ・オング 「恋するいい女」ツイスト 「青春」八代亜紀 「聞かぬ言」さだまさし 「おおいで酒」小林幸子 「贈る言葉」海援隊 「おやじの海」村木賢吉	「マー姉ちゃん」「鮎のうた」「あめりか物語」「3年B組金八先生」	「復讐するは我にあり」今村昌平監督・緒方拳 「新国鉄道999」りんたろう監督 「もう帰つてはこない」東陽一監督・桃井かおり	「ディア・ハンター」「靴の樹」「旅芸人の記録」
1980	昭和55	33	28	23	18	13	8	イラン・イラク戦争勃発 国立大入学共通一次試験開始		雨の事情 / 八代亜紀	「風が消えた恋」メリリー・マッフレガ 「恋の幕」八代亜紀 「街が泣いてた」伊丹哲也 & Side by Side	「ダンシング」オールナイトもんた & プラザーズ 「恋は秋色」松田聖子 「雨の幕」八代亜紀 「恋」谷村新司	「なっちゃんの写真館」「虹を織る」「獅子の時代」「シルクロード」「ザ・新社」「小死病棟」「新聞の死んだ日」「ツイゴイ」ネルワイゼン 鈴木清順監督・原田芳雄・大谷直子	「天平の憂(いらか)」熊井啓監督・中村嘉徳雄・田村高広 「武者」黒澤明監督・仲代達夫 「ツイゴイ」ネルワイゼン 鈴木清順監督・原田芳雄・大谷直子	「地獄の黙示録」「クレイマー、クレイマー」「青い珊瑚礁」「桜」	
1981	昭和56	34	29	24	19	14	9	MTV放送開始		ルビーの指環 / 寺尾聡	サヨナラ模様 / 伊藤敏博 完全無欠のロックンローラー / アラジン	完全無欠のロックンローラー / アラジン 希望への道 / オズワルド・ロドリゲス	「ルビーの指環」寺尾聡 「恋人よ」五輪真弓 「スーパースター」近藤真彦 「興興喜喜」竜崎孝也 「みちのくひとり旅」山本譲二	「まんざくの花」「本日も晴天なり」「夢日記」「おんな太閤記」「おれたちひょうきん族」「北の国から」	「子どものごと戦争があった」斎藤寅次郎監督・キャサリン・斎藤優一 「ええじゃないか」今村昌平監督・桃井かおり 「機動戦士ガンダム」富野由悠季監督 「セーラー服と機関銃」相米慎二監督・薬師丸ひろ子 「泥の河」小栗康平監督・田村高広	「普通の人々」「エレファント・マン」「プリキの太鼓」「約束の土地」
1982	昭和57	35	30	25	20	15	10	CD発売開始		CD発売開始	北酒場 / 細川たかし	待つわ / あみん 哀ダンサー / 本田美緒	「北酒場」細川たかし 「聖母たちのラバピア」若崎宏美 「花独の扉 / アン・ベルトウチ 「高いで」初志 / 梶原優 「セーラー服と機関銃」薬師丸ひろ子	「ハイカラさん」「よーいドン」「大河の一滴」「教科書はこうして作られる」「終りに見た街」「人間万事塞翁が二匹」「君は海を見たか」	「早治峰の賦」羽田淳子監督 「丸亀院子の生涯」五社英雄監督・仲代達夫・夏目雅子 「羽田行進曲」深作欣二監督・松坂慶子	「スクープ」悪意の不在」「レックス」「E.T.」及「青春の旅立ち」「ランボー」「炎のランナー」「無人の野」「1900年」「鉄の男」「ブッシュマン」
1983	昭和58	36	31	26	21	16	11	東京ディズニーランド開園	任天堂ファミコン発売 インターネット誕生	冬の華 / 磨香 フォーリナー / 小森田実 & ALPHA 雨の日 / 幸島美登里	愛のゆくえ / ニュートン・ファミリー 冬の華 / 磨香	「さざんかの宿」大川栄策 「矢切の渡し」細川たかし 「めだかの兄弟」わらべ 「キヤッツ、アイ」杏里 「天国のキッス」松田聖子 「金山港に帰れ」チョーコンビル	「おしん」「精木くずし〜親と子の200日戦争〜」「ステューデント物語」「17歳の戦争」	「天城越え」三村晴彦監督・田中裕子 「時代劇の女王」森崎栄盛監督・夏目雅子 「探偵物語」根岸吉太郎監督・薬師丸ひろ子 「幽霊」市川崑監督・佐久間良子 「家族ゲーム」森田芳光監督・松田優作 「東京裁判」小林正樹監督 「戦場のメリークリスマス」大島渚監督・坂本龍一	「フラッシュダンス」「ソフィの選択」「48時間」「ガンジー」	
1984	昭和59	37	32	27	22	17	12			長良川艶歌 / 五木ひろし	藍 / Concert Ploks ふられ気分 / Rock'n Roll / TOM☆CAT	「長良川艶歌」五木ひろし 「北の狼」森進一 「十戒」「北ウイング」中森明菜 「ワインレッドの心」安全地帯 「涙のリクエスト」チェッカーズ 「恋におちて」小林明子 「ミ、アモーレ」中森明菜 「悲しみにさよなら」安全地帯 「ジュリアに傷心」チェッカーズ 「俺も東京さよくら」吉幾三 「セーラー服を脱がさないで」おニャン子クラブ	「ロマンス」「心はいつもラムネ色」「宮本武蔵」「くれない族の反乱」「北斗の拳」「戦後争後の地球」	「お葬式」伊丹十三監督・山崎努・宮本信子 「Wの悲劇」沢井信一郎監督・薬師丸ひろ子・三田佳子 「探偵物語」和田誠監督・鹿野史史・高品格 「瀬戸内少年野球団」横田正浩監督・夏目雅子 「風の谷のナウシカ」宮崎駿監督	「ワンス・アポン・ア・タイム・イン・アメリカ」「ライト・スタッフ」「ナチュラル」「愛と道徳の日々」「ゴーストバスターズ」	
1985	昭和60	38	33	28	23	18	13	つくば万博開幕 阪神タイガース優勝		You & Me Tonight / ROLL-BACK …洋子 / 尾崎和行 & コースタルシティ	…洋子 / 尾崎和行 & コースタルシティ 恋のバスル / ヴァレリア・リンチ	「You & Me Tonight」中森明菜 「悲しみにさよなら」安全地帯 「ジュリアに傷心」チェッカーズ 「俺も東京さよくら」吉幾三 「セーラー服を脱がさないで」おニャン子クラブ	「薄つくし」「いちばん太鼓」「ルーブル美術館」「金曜日の妻たちへⅢ」「夕やけニャンニャン」「天才たけしの元気が出るテレビ」「スキャンダル」	「ヒルマの髻」市川崑監督・石坂洋次郎・中井貴一 「嵐」黒澤明監督・仲代達夫・原田英枝子 「台風クラブ」相米慎二監督・工藤夕貴・三浦友和 「銀河鉄道夜」杉井キサブロー監督	「コッククラブ」「アマデウス」「恋におちて」「ターミネーター」「ネバーエンディング・ストーリー」	
1986	昭和61	39	34	29	24	19	14			CDレンタル開始	DESIRE / 中森明菜	サイレント・シャウト / 長原裕三 明日(あした)行きの列車 / 小野健児	明日行きの列車 / 小野健児 ロングショット / ステイシー・ラティノ	「はね駒」「都の風」「ニュースステーション」「男女7人夏物語」「いのち」「テレビ探偵団」「Vははニュースキャスター」「ドラゴンボール」	「子猫物語」畑正憲監督 「キネマの天地」山田洋次監督・瀧美津・有森也実 「火宅の人」深作欣二監督・緒形拳・いしたあゆみ 「踊る樺三」横田正浩監督・船ひろみ 「海と毒薬」黒澤明監督・奥田英二 「天空の城ラピュタ」宮崎駿監督	「バック・トゥ・ザ・フューチャー」「ロッキー4」「グリーンズ」「コーラスライン」「Vはは出張中」「カイロの紫のバラ」「愛と哀しみの果て」
1987	昭和62	40	35	30	25	20	15	国鉄民営化		愚か者 / 近藤真彦	愚か者 / 近藤真彦	「愚か者」近藤真彦	「スターライト」光GENJI 「50/50」中山美穂 「サマー・ドリーム」チューブ 「命くれない」瀬川暎子 「人生いろいろ」島倉千代子 「愚か者」近藤真彦	「チョウちゃん」「はっさい先生」「独眼流歌宗」「ねるとん紅鯨団」	「マルサの女」伊丹十三監督・宮本信子・山崎努 「八チ公物語」神山征二郎監督・仲代達夫・八千草薫	「スタンド・バイ・ミー」「愛は静けさの中に」「ピバリー・ヒズコップ2」「プラトーン」「グッド・モーニング・パピロン!」「ミッション」「風が吹くとき」
1988	昭和63	41	36	31	26	21	16			バラダイス 鏡河 / 光GENJI	「乾杯」長瀬剛 「TATOO」中森明菜 「バラダイス鏡河」光GENJI 「ふたり」少年隊 「LOVE ME TENDER」RCサクセション 「乱れ花」大月みやこ	「乾杯」長瀬剛 「TATOO」中森明菜 「バラダイス鏡河」光GENJI 「ふたり」少年隊 「LOVE ME TENDER」RCサクセション 「乱れ花」大月みやこ	「教壇」佐藤純也監督・佐藤浩一・西田敏行 「マリリンに逢いたい」すずきじゅんいち監督・三浦友和 「TOMORROW・明日」黒木和雄監督・桃井かおり・馬場明子 「どなりのトロロ」宮崎駿監督	「ラストエンペラー」「太陽の帝国」「危険な情事」「グッドモーニング・ベトナム」「美香露」「旅人は休まない!」「八月の謎」		
1989	平成元	42	37	32	27	22	17	ベルリンの壁崩壊 天安門事件		イカ天ブーム	淋しい熱帯魚 / Wink	「淋しい熱帯魚」Wink 「あした」中島みゆき 「涙」高橋三 「クリスマス・イブ」山下達郎 「DIAMONDS」プリンセス・プリンセス 「淋しい熱帯魚」Wink	「青春家族」「和っこの金メダル」「春日山」「拝啓長崎市長殿」「薫良の小宇宙・人体」「いかにバッド天国(イカ天)」「速い組回」「和泉雅子北極点に立つ」	「黒い雨」今井昌平監督・北村和夫・田中好子 「あーらん」藤原健男監督・高倉健・宮本信子 「彼女の宅急便」宮崎駿監督	「レイマン」「ダイハード」「メジャーリーグ」「ブラックリン」「パペットの晩餐会」「赤毛のアン」「紅いコリヤン」	
1990	平成2	43	38	33	28	23	18	東西ドイツ統一	任天堂スーパーファミコン発売	恋明鏡り / 堀内孝雄 おどるポンポコリン / B.B.クイーンズ	「おどるポンポコリン」B.B.クイーンズ 「さよなら人類」たま 「恋歌綴り」堀内孝雄	「濃濃と」「京、ふたり」「浮浪雲」「ちびまる子ちゃん」「渡る世間は鬼ばかり」	「天と地と」角川春樹監督・榎本孝明・浅野温子 「つみ」市川崑監督・牧瀬里雄・中嶋朋子 「夢」黒澤明監督・寺尾聡・倍賞美津子 「輝の園」中原俊監督・つみきみほ	「フィールド・オブ・ドリームス」「悲情城市」「サラム・ボンベイ」		

年	年号	各世代の年齢					主な出来事 (赤字は海外)	主なテクノロジー (赤字は海外)	日本の主な メディアシーン	レコード大賞 受賞曲	ポプソングラ ンプリ受賞曲	世界歌謡祭グラン プリ受賞曲	日本で流行したヒット曲	日本で流行したテレビ番組	日本で流行した邦画	日本で流行した邦画
		60	55	50	45	40										
1991	平成3	43	39	34	29	24	19	湾岸戦争勃発		ドラマ主題歌の大ヒット 〔「ラブストーリーは突然に」J'AY YES〕	北の大地 / 北島三郎 愛はかづ / KAN		「ラブ・ストーリーは突然に」小田和正 「SAY YES」CHAGE&ASKA 「愛はかづ」KAN 「どんなときも」順原敬之 「北の大地」北島三郎	「君の名は」「クリスマス・イヴ」「東京ラブストーリー」「101回目のプロポーズ」「たけし・逸見の平成教育委員会」	「八月の狂詩曲」黒澤明監督・村瀬幸子・吉岡秀隆 「息子」山田洋次監督・三国連太郎・和久井映見 「龍のいる山」竹中直人監督・風吹ジュン	「ダンス・ウィズ・ウルブズ」「バートン・フィンク」 「羊たちの沈黙」「達磨はなぜ東に行ったのか」
1992	平成4	45	40	35	30	25	20		ソニーがMD発表	白い海峡 / 大月みやこ 君がいるだけで / 米米CLUB		「TVチャンピオン」「ずっとあなたが好きだった」「愛というものに」「おんなは度胸」「ひらり」「浅草橋ヤング洋品店」「美少女戦士セーラームーン」	「シコふんじやった」周防正行監督・本木雅弘・清水美沙 「縁のない川」東陽一監督・大谷直子・中村玉緒 「青春デンデケデケデケ」大林宣彦監督・林康文・大森嘉之	「JFK」「美しき罪人」「ボクスの恋人」「裸のランチ」		
1993	平成5	46	41	36	31	26	21	皇太子様、雅子様ご成婚 サッカーJリーグ		無言坂 / 香西かおり		「YAH YAH YAH」CHAGE&ASKA 「影法師」堀内孝雄 「愛のままにわがままに僕は君だけを傷つけない」B'z 「ぼくたちの失敗」森田童子 「鳥唄」The Boom 「無言坂」香西かおり	「ええいようぼ」「かりん」「高校教師」「琉球の風」「あすなろ白書」「ダブル・キッキング」「炎立つ」「料理の鉄人」「ウゴウゴ・ルーガ」「都合のいい女」	「お引越し」相米慎二監督・中井貴一・根田洋子 「月はどっちに出ている」滝澤一監督・岸谷五郎・ルビーモレノ 「学校」山田洋次監督・西田敏行	「許されざる者」「リバー・ランス・イット」「ジュラシック・パーク」「クライングゲーム」	
1994	平成6	47	42	37	32	27	22	関西国際空港開港		innocent world / Mr.Children		「innocent world」Mr.Children 「夜桜お七」坂本冬美 「恋しさとせつなさと心強さと」藤原涼子 「空と君のあいだに」中島みゆき 「春よこい」松任谷由美	「ひあの」「家なき子」「人間・失格」「投稿！特ホウ王国」「恋のカラ騒ぎ」「アリよさらば」「開運！何でも鑑定団」「進め！電波少年」	「RAMPO」本木雅弘・羽田美智子 「居酒屋ゆうれい」渡辺孝好監督・萩原健一・山口智子 「119」竹中直人監督	「ピアノ・レッスン」「シンドラのリスト」「トゥルーライズ」「スピード」	
1995	平成7	48	43	38	33	28	23	阪神・淡路大震災 地下鉄サリン事件	ソニー、プレイステーション発売	Overnight Sensation / trf		「ズルい女」シャ乱Q 「ロビンソン」スピッツ 「Love Love Love」DREAMS COME TRUE 「Tomorrow」岡本真夜 「Overnight sensation」trf 「捨てられて」長山洋子	「春よ、来い」「走らんか！」「ステーション」「王様のレストラン」「星の金貨」「未成年」「炎のチャレンジャー」「筋肉番付」「ASAYAN」	「Shall We ダンス？」周防正行監督・役所広司・草刈民代 「Sワロウテイル」岩井俊二監督・三上寛史・CHARA 「モスラ」米田興弘監督・小林恵・山口沙弥加	「王妃マルゴ」「フォレスト・ガンブー一期一会」「アポロ13号」「マディソン郡の橋」	
1996	平成8	49	44	39	34	29	24	携帯電話・PHS、 2000万台を突破(日)		Don't wanna cry / 安室奈美恵		「あなたに逢いたくて」松田聖子 「Don't wanna cry」安室奈美恵 「名もなき詩」Mr.Children 「アジアの純真」PUFFY 「DEPARTURES」globe 「I'm Proud」華原朋美 「チェリー」スピッツ	「ひまわり」「ふたりっ子」「ロングバケーション」「Sワロウテイル」「トク」「義務と演技」「イクアナの娘」「新世紀エヴァンゲリオン」	「Shall We ダンス？」周防正行監督・役所広司・草刈民代 「Sワロウテイル」岩井俊二監督・三上寛史・CHARA 「モスラ」米田興弘監督・小林恵・山口沙弥加	「ジュマンジ」「インディペンデンス・デイ」「大地と自由」「カッパルス」	
1997	平成9	50	45	40	35	30	25	ダイアナ元妃が交通事故 致死	DVDをソニーが発表	CAN YOU CELEBRATE? / 安室奈美恵		「Can You Celebrate」安室奈美恵 「ガラスの少年」Kinki Kids 「HOWEVER」GLAY	「うなぎ」今村昌平監督・役所広司・清水美沙 「もののけ姫」宮崎駿監督 「失楽園」森田芳光監督・役所広司・黒木瞳 「鉄男」大河原孝夫監督・渡哲也・長瀬正敏 「バウンス koGALS」原田真人監督・佐藤仁美・佐藤康恵	「うなぎ」今村昌平監督・役所広司・清水美沙 「もののけ姫」宮崎駿監督 「失楽園」森田芳光監督・役所広司・黒木瞳 「鉄男」大河原孝夫監督・渡哲也・長瀬正敏 「バウンス koGALS」原田真人監督・佐藤仁美・佐藤康恵	「タイタニック」「秘密と嘘」	
1998	平成10	51	46	41	36	31	26	冬季オリンピック長野 大会開催	ソニーがCSで音楽配信 携帯、PHS加入数が 5000万台(日)	wanna Be A Dreammaker / globe		「夜空ノムコウ」SMAP 「全部抱きしめて」Kinki Kids 「長い間」Kiroo 「my graduation」SPEED	「HANA-BI」北野武監督・ビートたけし・岸本加世子 「踊る大捜査線」本広克行監督・織田裕二・深津絵里 「学校3」山田洋次監督・大竹しのぶ・小林稔侍	「プライベート・ライアン」「フェイス/オフ」「トゥルーマン・ショー」		
1999	平成11	52	47	42	37	32	27			Winter, again / GLAY		「だんご3兄弟」遠水けんたろう・茂森あゆみ 「Automatic」「First Love」宇多田ヒカル 「Love マンション」モーニング娘。 「Boys&Girls」浜崎あゆみ 「BE TOGETHER」鈴木あみ	「鉄道員(ぽっぽや)」降旗康男監督・高倉健・大竹しのぶ 「のど自慢」井筒和幸監督・室井滋・大友康平 「ワンダフルライフ」堤根裕和監督	「アルマゲドン」「スター・ウォーズエピソード1」「マトリックス」「恋に落ちたシェイクスピア」「シン・レッド・ライン」「ライフ・イズ・ビューティフル」		
2000	平成12	53	48	43	38	33	28			TSUNAMI / サザンオールスターズ		「TSUNAMI」サザンオールスターズ 「桜坂」福山雅治 「SEASONS」浜崎あゆみ 「Everything」MISIA 「あなたのキスを数えましょう」小柳ゆき 「Love, Day After Tomorrow」倉木麻衣 「ハッピーサマーウェディング」モーニング娘。 「孫」大泉滄郎	「御法度」大島渚監督・ビートたけし・松田龍平 「十五歳 学校IV」山田洋次監督・金井勇太・麻美れい 「雨上がる」小泉英史監督・寺尾聰・宮崎美子 「アビの恋」中江裕司監督・西田尚美 「バトルロワイヤル」東映欣二監督・藤原竜也	「M1-2」「グリーンマイル」「グラディエーター」「アメリカンビューティ」「シュリ」		
2001	平成13	54	49	44	39	34	29	アメリカ中核同時多発 テロ		初代iPod発表	Dearest / 浜崎あゆみ		「Can You Keep A Secret?」宇多田ヒカル 「[M]」evolution」「Dearest」浜崎あゆみ 「PIECES OF A DREAM」CHEMISTRY 「恋愛レボリューション21」モーニング娘。 「アナハズ」ボルノグラフィティ 「明日があるさ」ウルフルズ他	「HERO」「救命病棟24時」「プロジェクトX」「ちゅらさん」 「陰陽師」滝田洋二郎監督・野村萬斎	「A.I.」「パール・ハーバ」「ジュラシック・パーク3」「ダイナソー」	
2002	平成14	55	50	45	40	35	30	日韓共催2002年FIFA ワールドカップ開催		東京JAZZ：ハービー・ ハンコック auが着うた開始	Voyage / 浜崎あゆみ		「Independent」「Voyage」浜崎あゆみ 「Traveling」宇多田ヒカル 「Life goes on」Dragon Ash 「Way of Difference」GLAY 「大きな古時計」平井堅 「きよしのスندوق節」氷川きよし	「渡る世間は鬼ばかり」「ほんまもん」「空から降る一億の星」「さくら」「まんてん」「利家とまつ」	「猫の恩返し/ギブリーズ episode2」宮崎駿監督 「探偵コナン」こだま兼嗣監督	「ハリリー・ポッターと賢者の石」「スパイダーマン」「モンスターズ・インク」「スター・ウォーズ・エピソード2」「ロード・オブ・ザ・リング」
2003	平成15	56	51	46	41	36	31	イラク戦争勃発		iTune Music Store を きっかけにインター ネットによる音楽配信 が急速に普及	No way to say / 浜崎あゆみ		「世界に一つだけの花」SMAP 「虹」福山雅治 「さくら(独唱)」森山直太朗 「No Way To Say」浜崎あゆみ 「HERO」Mr.Children 「大切なもの」ロード・オブ・メジャー 「塵上の星」中島みゆき 「涙そうそう」夏川りみ 「もらい泣き」一青窈	「てるてる家族」「冬のソナタ」「GOOD LUCK!!」「白い巨匠」「トリビアの泉〜素晴らしきムダ知識〜」	「踊る大捜査線 THE MOVIE2 / レインボーブリッジを封鎖せよ」織田裕二 「座頭一」北野武監督・ビートたけし	「ハリリー・ポッターと秘密の部屋」「ターミネーター3」「マトリックス・リローデッド」「マトリックス・レボリューションズ」「ロード・オブ・ザ・リング・二つの塔」「ボウリング・フォー・ロビンソン」
2004	平成16	57	52	47	42	37	32		ニンテンドー DS 発売	Sign / Mr.Children		「瞳をじて」平井堅 「Sign」「掌」Mr.Children 「Jupiter」平原綾香 「花」「ロコロケーション」Orange Range 「マツケンサンバII」松平健 「桜」川口春香	「砂の器」「黒革の手帳」「新鮮組1」「天花」「たつたひとつたのたからもの」「ラストクリスマス」「孫」	「ハウルの動く城」宮崎駿監督 「世界の中心で愛を叫ぶ」行定勲監督・大沢たかお・柴咲コウ・長澤まさみ・森山未來	「ラスト・サムライ」「ファインディング・ニモ」「ハリリー・ポッターとアズカバンの囚人」	
2005	平成17	58	53	48	43	38	33			Butterfly / 仲田来未		「～アスタリスク～」ORANGE RANGE 「さくら」ケツメイシ 「四次元 Four Dimensions」Mr.Children 「Anniversary」Kinki Kids	「北の零年」行定勲監督・吉永小百合 「交渉人・真下正義」ユースケ・サンタマリア 「電車男」山田孝之・中谷美紀 「NANA」中島美嘉・宮崎あおい	「スター・ウォーズ・エピソード3」「マダガスカル」「チャーリーとチョコレート工場」		

3. 資料編

出題内容

音楽ライフスタイル

○あなたの音楽ライフスタイルについて伺います。

Q1: 音楽や楽器のレッスンを受けたことがありますか?

- a ある
- b ない

Q2: あなたは音楽をどのように楽しんでいますか? (複数回答可)

- a CDやレコードを聴く
- b ミュージックDVDを見る
- c コンサート・ライブに行く
- d 楽器を演奏する
- e 歌を歌う
- f その他()

Q3: 主にどのような環境で音楽を聴いていますか? 主なものを1つお答え下さい。

- a ポータブルオーディオ (iPod, ウォークマン等)
- b カーオーディオ
- c ラジカセ
- d パソコン
- e ミニコンポ
- f 据え置き型大型オーディオ
- g サラウンドシステム
- h 聴かない
- i その他()

Q4: 現在のご自分の視聴環境 (Q3での音楽環境) をどう思いますか? 主なものを1つお答え下さい。

- a 大変満足している
- b 満足している
- c 普通
- d 不満を感じる
- e 大変不満を感じる
- f その他()

Q5: 一番好きな音楽のジャンルは何ですか? 主なものを1つお答え下さい。またその理由をお答えください。

- | | |
|-------------|-------------|
| a J-POP | l ボサノバ・サンバ |
| b ロック・ポップス | m タンゴ |
| c R&B | n サルサ |
| d ヒップホップ | o ヒーリング |
| e ダンスミュージック | p 映画音楽 |
| f ジャズ | q 歌謡曲 |
| g フュージョン | r 演歌 |
| h クラシック | s 日本民謡 |
| i フォーク | t 純邦楽 (雅楽等) |
| j ニューミュージック | u その他() |
| k レゲエ | v ない |

理由:

Q6: 好きな曲やアーティスト, 作曲家をご記入下さい.
 (具体的な名前が思い浮かばない場合は「〇〇のCMで流れている曲」等でも構いません)

理由:

Q7: 嫌いな音楽のジャンルはありますか? 主なものを1つお答え下さい.
 また, その理由をお答えください.

- | | |
|-------------|------------|
| a ない | l レゲエ |
| b J-POP | m ボサノバ・サンバ |
| c ロック・ポップス | n タンゴ |
| d R&B | o サルサ |
| e ヒップホップ | p ヒーリング |
| f ダンスミュージック | q 映画音楽 |
| g ジャズ | r 歌謡曲 |
| h フュージョン | s 演歌 |
| i クラシック | t 日本民謡 |
| j フォーク | u 純邦楽(雅楽等) |
| k ニューミュージック | v その他() |

理由:

Q8: あなたにとって「思い出の曲」はありますか?

- a ない → 次の質問(Q9)にお進みください.
 b ある ↓

Q8-2: その曲名と聴いていた年齢を教えてください. 最大3つまでお答え下さい.

曲名()年齢()歳頃
 曲名()年齢()歳頃
 曲名()年齢()歳頃

Q9: 男性が演奏していてカッコいいと思う楽器は何ですか?
 (1位, 2位, 3位を1つずつ異なるものをお答え下さい.)

- | | |
|------------------|----------|
| a ピアノ | m クラリネット |
| b エレクトーン(電子オルガン) | n バイオリン |
| c パイプオルガン | o チェロ |
| d ジャズオルガン | p トランペット |
| e エレクトリック・ギター | q トロンボーン |
| f アコースティック・ギター | r サックス |
| g ベース | s 琴 |
| h ドラム | t 尺八 |
| i シンセサイザー/キーボード | u 和太鼓 |
| j ウクレレ | v 三味線 |
| k オーボエ | w ヴォーカル |
| l フルーツ | x その他() |

Q10: 女性が演奏していて素敵だと思う楽器は何ですか?
 (1位, 2位, 3位を1つずつ異なるものをお答え下さい.)

- | | |
|------------------|----------|
| a ピアノ | m クラリネット |
| b エレクトーン(電子オルガン) | n バイオリン |
| c パイプオルガン | o チェロ |
| d ジャズオルガン | p トランペット |
| e エレクトリック・ギター | q トロンボーン |
| f アコースティック・ギター | r サックス |
| g ベース | s 琴 |
| h ドラム | t 尺八 |
| i シンセサイザー/キーボード | u 和太鼓 |
| j ウクレレ | v 三味線 |
| k オーボエ | w ヴォーカル |
| l フルーツ | x その他() |

Q11: あなたには演奏出来る楽器はありますか?

- a ない → 次の質問 (Q12) にお進みください。
b ある ↓

Q11-2: その楽器は何ですか? (複数回答可) 当てはまる楽器の始めた年齢と演奏歴(演奏している/いた通算年数)をお答え下さい。

楽器名	開始時期	習った通算年数
a ピアノ	()歳 ()年()ヶ月	()年()ヶ月
b エレクトーン(電子オルガン)	()歳 ()年()ヶ月	()年()ヶ月
c パイプオルガン	()歳 ()年()ヶ月	()年()ヶ月
d ジャズオルガン	()歳 ()年()ヶ月	()年()ヶ月
e エレクトリック・ギター	()歳 ()年()ヶ月	()年()ヶ月
f アコースティック・ギター	()歳 ()年()ヶ月	()年()ヶ月
g ベース	()歳 ()年()ヶ月	()年()ヶ月
h ドラム	()歳 ()年()ヶ月	()年()ヶ月
i シンセサイザー/キーボード	()歳 ()年()ヶ月	()年()ヶ月
j ウクレレ	()歳 ()年()ヶ月	()年()ヶ月
k オーボエ	()歳 ()年()ヶ月	()年()ヶ月
l フルーツ	()歳 ()年()ヶ月	()年()ヶ月
m クラリネット	()歳 ()年()ヶ月	()年()ヶ月
n バイオリン	()歳 ()年()ヶ月	()年()ヶ月
o チェロ	()歳 ()年()ヶ月	()年()ヶ月
p トランペット	()歳 ()年()ヶ月	()年()ヶ月
q トロンボーン	()歳 ()年()ヶ月	()年()ヶ月
r サックス	()歳 ()年()ヶ月	()年()ヶ月
s 琴	()歳 ()年()ヶ月	()年()ヶ月
t 尺八	()歳 ()年()ヶ月	()年()ヶ月
u 和太鼓	()歳 ()年()ヶ月	()年()ヶ月
v 三味線	()歳 ()年()ヶ月	()年()ヶ月
w ヴォーカル	()歳 ()年()ヶ月	()年()ヶ月
x その他()	()歳 ()年()ヶ月	()年()ヶ月

Q11-3: あなたが現在も演奏している楽器と現在演奏していないが再開したい楽器をお答え下さい。(複数回答可)

楽器名	演奏している	していないが再開したい
a ピアノ	いる ・ いない	したい ・ したくない
b エレクトーン(電子オルガン)	いる ・ いない	したい ・ したくない
c パイプオルガン	いる ・ いない	したい ・ したくない
d ジャズオルガン	いる ・ いない	したい ・ したくない
e エレクトリック・ギター	いる ・ いない	したい ・ したくない
f アコースティック・ギター	いる ・ いない	したい ・ したくない
g ベース	いる ・ いない	したい ・ したくない
h ドラム	いる ・ いない	したい ・ したくない
i シンセサイザー/キーボード	いる ・ いない	したい ・ したくない
j ウクレレ	いる ・ いない	したい ・ したくない
k オーボエ	いる ・ いない	したい ・ したくない
l フルーツ	いる ・ いない	したい ・ したくない
m クラリネット	いる ・ いない	したい ・ したくない
n バイオリン	いる ・ いない	したい ・ したくない
o チェロ	いる ・ いない	したい ・ したくない
p トランペット	いる ・ いない	したい ・ したくない
q トロンボーン	いる ・ いない	したい ・ したくない
r サックス	いる ・ いない	したい ・ したくない
s 琴	いる ・ いない	したい ・ したくない
t 尺八	いる ・ いない	したい ・ したくない
u 和太鼓	いる ・ いない	したい ・ したくない
v 三味線	いる ・ いない	したい ・ したくない
w ヴォーカル	いる ・ いない	したい ・ したくない
x その他	いる ・ いない	したい ・ したくない

Q11-4: その楽器を始めたきっかけを教えてください。(複数回答可)

- a 好きなアーティストの影響
- b TV番組の影響
- c 友人・知人の勧め
- d 親の勧め
- e 健康のため
- f クラブ活動の影響
- g モテたかった
- h 楽器の音が好きだった
- i バンドを組みたかった
- j 人前で演奏したかった
- k 趣味が欲しかった
- l その他()

**Q11-5: 楽器を習得する上で、最も重要だと思うものをお答え下さい。
主なものを1つお答え下さい。**

- a 練習する時間
- b 楽器を弾ける・練習が出来る環境
- c 周囲に楽器を習っている人がいる環境
- d 楽器
- e レッスンを受けること
- f 才能
- g 根気
- h その他()

Q12: 今までに未経験の楽器で、演奏してみたい楽器はありますか?

- a ない → 次の質問(Q13)にお進みください。
- b ある ↓

**Q12-2: その楽器は何ですか?
(1位, 2位, 3位を1つずつ異なるものをお答え下さい。)**

- | | |
|-------------------|----------|
| a ピアノ | m クラリネット |
| b エレクトーン (電子オルガン) | n バイオリン |
| c パイプオルガン | o チェロ |
| d ジャズオルガン | p トランペット |
| e エレクトリック・ギター | q トロンボーン |
| f アコースティック・ギター | r サックス |
| g ベース | s 琴 |
| h ドラム | t 尺八 |
| i シンセサイザー / キーボード | u 和太鼓 |
| j ウクレレ | v 三味線 |
| k オーボエ | w ヴォーカル |
| l フルート | x その他() |

**Q12-3: 楽器を弾けるようになったら、何をしたいと思いますか?
主なものを1つお答え下さい。**

- | | |
|-------------------|--------------|
| a コンサート・ライブに出たい | f 人前で演奏したい |
| b コンクール・コンテストに出たい | g 家族と楽しみたい |
| c バンドを組みたい | h 自分で楽しみたい |
| d 先生になりたい | i 演奏技術を追求したい |
| e 作曲したい | j その他() |

**Q12-4：今後未経験の楽器を習得する上で最も重要だと思うものは何ですか？
主なものを1つお答え下さい。**

- a 練習する時間
- b 楽器を弾く・練習が出来る環境
- c 周囲に楽器を習っている人がいる環境
- d 楽器
- e レッスンを受けること
- f 親・家族等周囲の理解
- g 才能
- h 根気
- i その他()

**Q12-5：どんな方法で習得したいと思いますか？
主なものを1つお答え下さい。**

- a 楽器店等のレッスン教室
- b 自治体やカルチャーセンターの教室
- c 個人の先生
- d TV電話レッスン
- e 通信教育
- f 友人・知人に教わる
- g その他()
- h 独習 ↓

Q12-6：なぜ独習しようと思いますか？ 主なものを1つお答え下さい。

- a 自分のペースで学習出来るから
- b 時間が無いから
- c お金が無いから
- d 習ってまで演奏したいと思わないから
- e 楽譜が読めないから
- f レッスンを受けるのが恥ずかしいから
- g 人に教わるのが嫌だから
- h その他()

Q13：楽器演奏に必要なと思う能力は何ですか？ 主なものを1つお答え下さい。

- a 音程が聴き分けられる
- b 音程を正しく歌える
- c 楽譜が読める
- d 楽譜が書ける
- e 楽典に関する知識
- f 楽器に関する知識
- g 身体的な器用さ
- h その他()

Q14：あなたは楽譜が読めますか？ ○を1つお答え下さい。

- a 完璧に読める
- b 少しなら読める ↓

Q14-2：楽譜との主な関わりを教えてください。

- a 楽器演奏の時に見る
- b 音楽鑑賞しながら見る
- c 作曲
- d 特に関わりは無い
- e その他()

- c 読めない ↓

Q14-3：読めるようになりたいと思いますか？

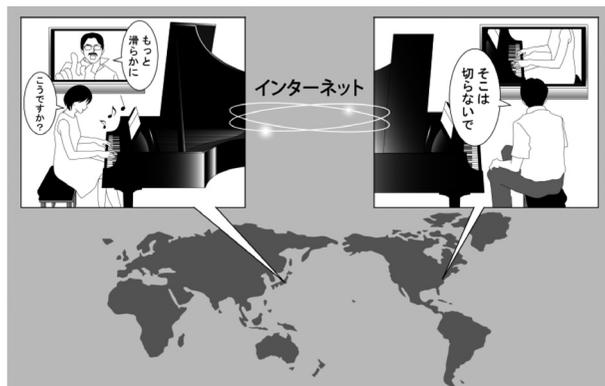
- a 思わない → 次の質問(Q15)にお進みください。
- b 思う ↓

**Q14-4：なぜ読めるようになりたいと思いますか？
主なものを1つお答え下さい。**

- a 一般教養として知っておきたいから
- b 読めないと楽器が弾けないから
- c 読めないと恥ずかしいから
- d 読めないと悔しいから
- e その他()

Q15: インターネットやテレビ電話を活用した音楽レッスンについて伺います。

下記のようなイメージを思い浮かべて下さい。



このようなインターネットやテレビ電話を活用した音楽レッスンをどう思いますか？

○を1つご記入下さい。

a 活用してみたい ↓

Q15-2: なぜそう思いましたか？ 主なものを1つお答え下さい。

- a 面白そうだから
- b 新しいものが好きだから
- c 自宅でも受ける事が出来るから
- d 好きな時間に受けられそうだから
- e 他人を気にせずに受ける事が出来るから
- f 自分のペースで学習できるから
- g その他 ()

b 抵抗感がある ↓

Q15-3: なぜそう思いましたか？ 主なものを1つお答え下さい。

- a 機器の操作が難しそう
- b 面倒くさそう
- c 音楽とネットがいまいち結びつかない
- d 自分には合わない
- e その他 ()

Q16: 音楽を一緒に楽しむ事が出来る仲間が欲しいと感じることはありますか？

a 感じない → 次の質問 (Q17) にお進みください。

b 感じる ↓

Q16-2: どのような方法で探しますか？ 主なものを1つお答え下さい。

- a インターネット
- b 店頭の掲示板
- c 雑誌等の募集欄
- d レッスン教室
- e 友人・知人
- f その他 ()

Q17: アンサンブル・バンド等の活動経験がありますか?

a ある ↓

Q17-2: 活動内容を教えてください。(複数回答可)

- | | |
|-----------------------|-------------|
| a 合唱・ゴスペル | h フォーク |
| b 吹奏楽・マーチングバンド | i ハワイアン |
| c 弦・管・打楽器などの小規模アンサンブル | j ラテン |
| d オーケストラ | k 民族音楽 |
| e ロックバンド | l 邦楽系 |
| f J-POP などのポップスバンド | m ダンスミュージック |
| g ジャズ・フュージョンバンド | n その他() |

Q17-3: アンサンブル活動の魅力を考えて下さい。

b ない ↓

Q17-4: 今後、アンサンブルやバンド活動をやってみたいと思いますか? その理由もお答え下さい。

- a 是非やってみたい
- b 勧められればやってみたい
- c 興味はあるが自分には無理
- d やりたくない
- e 興味がない

理由:

Q17-5: 何をやってみたいと思いますか? 主なものを1つお答え下さい。

- | | |
|-----------------------|-------------|
| a 合唱・ゴスペル | h フォーク |
| b 吹奏楽・マーチングバンド | i ハワイアン |
| c 弦・管・打楽器などの小規模アンサンブル | j ラテン |
| d オーケストラ | k 民族音楽 |
| e ロックバンド | l 邦楽系 |
| f J-POP などのポップスバンド | m ダンスミュージック |
| g ジャズ・フュージョンバンド | n その他() |

Q18: あなたはパソコンをどのように利用していますか? (複数選択可)

- a Webを見る
- b メール
- c チャット・テレビ電話
- d ゲーム
- e 音楽を聴く
- f 映像を見る
- g ホームページやブログの管理
- h 株・為替の取引・ネットバンキング
- i その他()

アンケートは以上です。ありがとうございました。

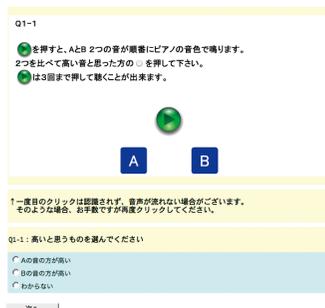
音楽感覚テストについて

以下8つの項目についてWeb上(Flash)で音を聞いて答える。合計41問の出題。
最初に例題を置くことによって、出題の意図や答え方を出来るだけわかりやすくした。

●第1問

2つの音A,Bを聴き、どちらの音の音程が高いかを答える。

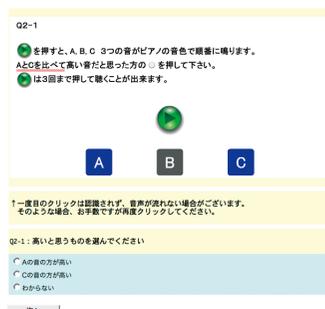
選択肢は、A,B,わからないの3択で7問出題。音は3回まで聞くことができる。



●第2問

3つの音A,B,Cを聴き、AとCでどちらの音が高いかを答える。

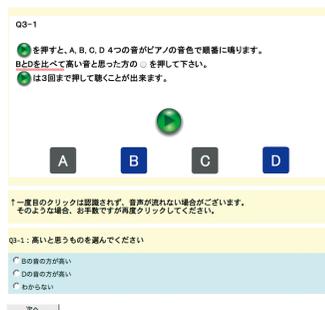
選択肢は、A,C,わからないの3択で7問出題。音は3回まで聞くことができる。



●第3問

4つの音A,B,C,Dを聴き、BとDでどちらの音が高いかを答える。

選択肢は、B,D,わからないの3択で7問出題。音は3回まで聞くことができる。



※出題内容、黄色が正解

第1問：AとBの音程		A	B
例題	note no.	60	62
問1	note no.	64	60
問2	note no.	67	66
問3	note no.	80	86
問4	note no.	33	32
問5	C3+X[cent]	0	-56.25
問6	C3+X[cent]	56.25	93.75
問7	C3+X[cent]	262.5	243.75

※出題内容、黄色が正解

第2問：AとCの音程				
	A	B	C	
例題	note no.	60	64	62
問1	note no.	64	59	60
問2	note no.	85	58	88
問3	note no.	69	61	63
問4	note no.	32	68	33
問5	C3+X[cent]	0	56.25	-75
問6	C3+X[cent]	0	-150	56.25
問7	C3+X[cent]	206.25	0	187.5

※出題内容、黄色が正解

第3問：BとDの音程					
	A	B	C	D	
例題	note no.	60	62	64	67
問1	note no.	64	59	62	60
問2	note no.	64	57	69	60
問3	note no.	67	56	61	58
問4	note no.	66	82	65	81
問5	C3+X[cent]	0	-37.5	-75	37.5
問6	C3+X[cent]	0	112.5	-56.25	56.25
問7	C3+X[cent]	0	-112.5	-37	-75

●第4問

4つの和音A,B,C,Dを聞き、Aと同じ和音を答える。

選択肢は、B,C,D,わからないの4択で5問出題。音は3回まで聞くことができる。

Q4-1

●を押すと、A, B, C, D 4つの和音(コード)がAから順番に再生されます。Aと同じだと思うものをB, C, D から選んで ●を押して下さい。
●は3回まで押して聴くことができます。

A
B C D

↑一度目のクリックは認識されず、音声が出れない場合がございます。そのような場合、お手数ですが再度クリックしてください。

Q4-1: Aと同じ和音と思うものを選んでください

B
 C
 D
 わからない

次へ

※出題内容、黄色が正解

第4問：同じ和音		A	B	C	D
例題	C	C	C	F	G7
問1	G7	G7	F	G7	C
問2	⁻⁵ Bm7	⁻⁵ Bm7	Am ⁽⁹⁾	⁻⁵ Bm7	(^{b9})E7
問3	Am ⁽⁹⁾	Am ⁽⁹⁾	⁻⁵ Bm7	(^{b9})E7	Am ⁽⁹⁾
問4	Dm ⁺⁵	Dm ⁺⁵	Dm	Dm ⁺⁵	Dm6
問5	aug	aug	5th built	4th built	aug

●第5問

有名な楽曲の一部を聴き、正しく等速で演奏されているものを3つより選ぶ。

選択肢は、A,B,C,わからないの4択で2問出題。音は3回まで聞くことができる。

Q5-1

デキシーランドジャズの名曲「聖者の行進」の冒頭のメロディーです。2つのメロディーのタイミングやテンポが正しく演奏されているのは次の3つのうちのどれでしょう。
メロディーはそれぞれ3回まで押して聴くことができます。

A B C

↑一度目のクリックは認識されず、音声が出れない場合がございます。そのような場合、お手数ですが再度クリックしてください。

Q5-1: 正しく演奏されていると思うものを選んでください

A
 B
 C
 わからない

次へ

※出題内容、黄色が正解

第5問：タイミング		A	B	C
例題	「さくら」	遅い	等速	速い
問1	「聖者の行進」	速い	遅い	等速
問2	「茶摘み」	等速	遅い	速い

●第6問

あるアンサンブル楽曲のお手本[1]を聞いた後、特定のパートが抜けている楽曲[2]を聴く。

その抜けているパートの音は何かA,B,Cより選ぶ問題で2問出題。

演奏は3回まで聞くことができる。

Q6-1

上の ●を押すと2種類の同じ曲が続けて演奏されます。
[1]の演奏にはあって[2]の演奏には無いものを選びつけて下さい。
無いものがわからなかったらA, B, C 3つの選択肢の中から
[1]の演奏にはあって[2]の演奏には無いものを選んで下さい。
それぞれ ●は3回まで押して聴くことができます。

[1] [2]

A B C

↑一度目のクリックは認識されず、音声が出れない場合がございます。そのような場合、お手数ですが再度クリックしてください。

Q6-1: [1]の演奏にはあって、[2]の演奏には無いものを選んでください

A
 B
 C
 わからない

次へ

※出題内容、黄色が正解

第6問：パート抜け		A	B	C
例題	「ガボット」	Melody	Chord	Bass
問1		Chord	Melody	Rhythm
問2		Piano	Banjo	Accordion

● 第7問

音のピッチやボリュームを視覚化したものと、音が一致しないものはどれかを選ぶ。選択肢は、A, B, C, D, わからないの5択で合計9題出題。音は3回まで聞くことができる。

Q7-1-1

次の□に描かれるグラフは音量(ボリューム)の大小を示しています。4つの中よりグラフと音の関係が異なるものを1つ見つけて下さい。
は3回まで押して聴くことができます。

↑一度目のクリックは認識されず、音声が消れない場合がございます。そのような場合、お手数ですが再度クリックしてください。

Q7-1-1: グラフと音の関係が異なるものを選んでください

A
 B
 C
 D
 わからない

次へ

Q7-2-1

次の□に描かれるグラフは音の高さ(ピッチ)の変化を示しています。4つの中よりグラフと音の関係が異なるものを1つ見つけて下さい。
は3回まで押して聴くことができます。

↑一度目のクリックは認識されず、音声が消れない場合がございます。そのような場合、お手数ですが再度クリックしてください。

Q7-2-1: グラフと音の関係が異なるものを選んでください

A
 B
 C
 D
 わからない

次へ

Q7-3-1

次の□に描かれるグラフは音の高さ(ピッチ)と音量(ボリューム)の大小を示しています。4つの中よりグラフと音の関係が異なるものを1つ見つけて下さい。
は3回まで押して聴くことができます。

↑一度目のクリックは認識されず、音声が消れない場合がございます。そのような場合、お手数ですが再度クリックしてください。

Q7-3-1: グラフと音の関係が異なるものを選んでください

A
 B
 C
 D
 わからない

次へ

※出題内容、黄色が正解

第7問：音の視覚化				
例題(音量グラフ)	A	B	C	D
問1	正	誤	正	正
問2	正	正	正	誤
問3	正	正	誤	正

※出題内容、黄色が正解

第7問：音の視覚化				
例題(ピッチの高低グラフ)	A	B	C	D
問1	正	正	誤	正
問2	正	正	正	誤
問3	正	誤	正	正

※出題内容、黄色が正解

第7問：音の視覚化				
例題(音量+ピッチの高低グラフ)	A	B	C	D
問1	正	誤	正	正
問2	誤	正	正	正
問3	正	正	正	誤

●第8問

正しいメロディーを聴いた後、一部穴あきになったフレーズが何かを3つより選ぶ。選択肢は、A, B, C, わからないの4択で3問出題。演奏は3回まで聞くことができる。

QB-1

【1】と【2】は同じメロディーです。ただし【2】は途中の部分が抜かれています。抜かしているメロディーをA, B, Cの中から選んで下さい。メロディーはそれぞれ3回まで聴くことができます。

1  

2   ? 

 A  B  C

↑一度目のクリックは認識されます。音声が使えない場合がございます。そのような場合は、右半部ですべて再クリックしてください。

QB-1: 抜けているメロディーを選んでください

A
 B
 C
 わからない

[次へ](#)

※出題内容、黄色が正解

第8問：穴あき		A	B	C
例題	「メヌエット」			OK
問1	「オーラリー」		OK	
問2	「オリジナル1」	OK		
問3	「オリジナル2」			OK

ヤマハ音楽研究所

音楽ライフスタイル Web アンケート報告書 2006

発行年月 2007年6月

発行人 中山 洋（ヤマハ音楽研究所 所長）

発行所 財団法人ヤマハ音楽振興会 音楽研究事業部 ヤマハ音楽研究所 ソフト研究開発グループ
〒211-0025 神奈川県川崎市中原区木月 4-31-7

Tel. : 044-430-5780

ホームページ URL : <http://www.yamaha-mf.or.jp/onken/>

財団法人ヤマハ音楽振興会